

第1号議案

令和7年度 静岡市厚生事業協会

事業報告書

令和8年6月3日

社会福祉 静岡市厚生事業協会
法人

目 次

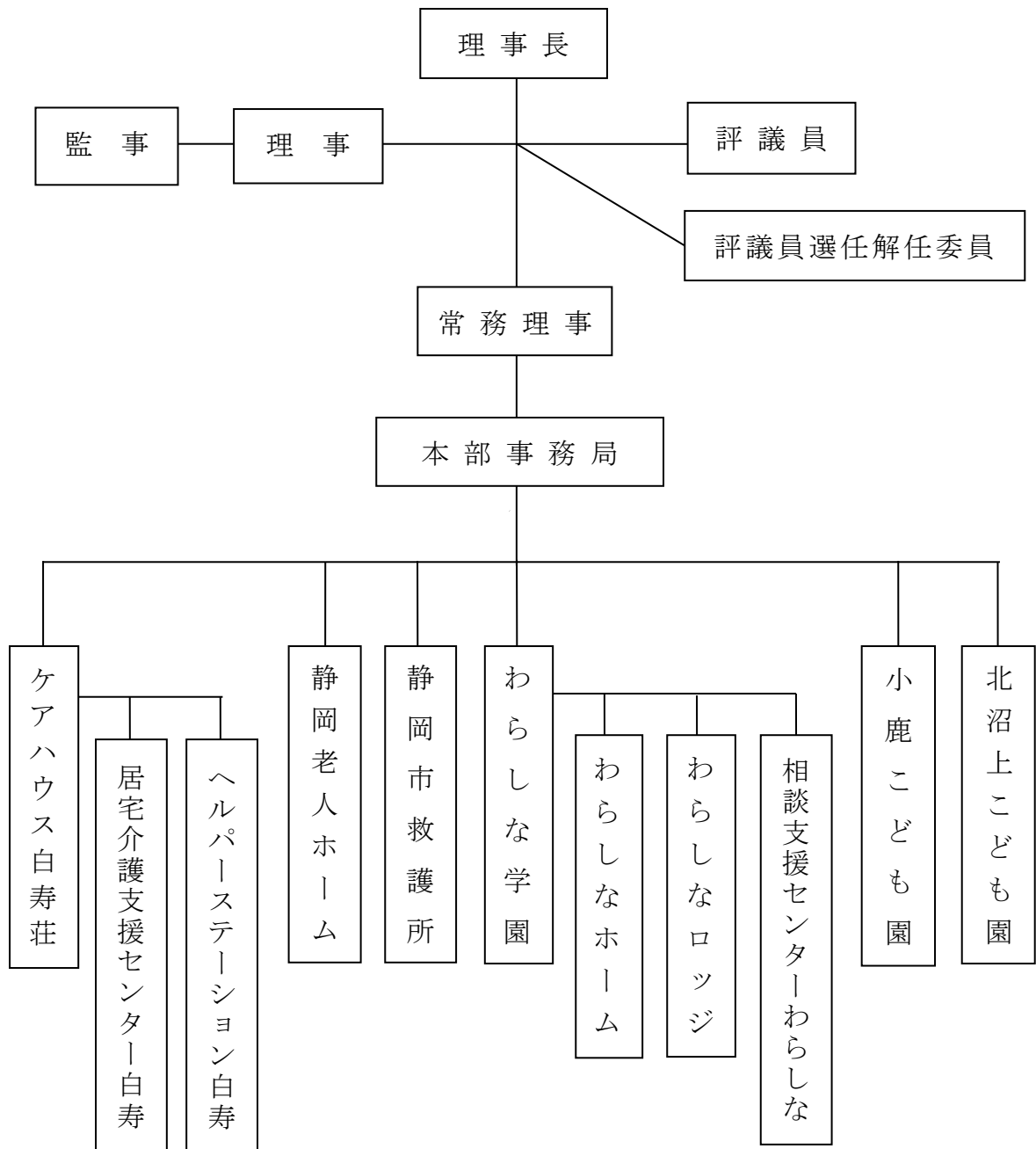
令和7年度 静岡市厚生事業協会事業報告

1	協会組織及び協会の動き		1
I	静岡市厚生事業協会	本 部	 6
II	老人福祉関連	軽費老人ホーム	ケアハウス白寿荘 17
		養護老人ホーム	静岡老人ホーム 29
		老人居宅介護等事業 障害福祉サービス事業	ヘルパーステーション白寿 .. 44
III	保護施設	救護施設	静岡市救護所 49
IV	障害福祉関連	障害者支援施設	わらしな学園 61
		障害福祉サービス事業	わらしなホーム 72 (グループホーム)
		障害福祉サービス事業	わらしなロッジ 76 (重度障害者生活訓練ホーム)
		指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業	相談支援センターわらしな .. 83
V	幼保連携型認定こども園	小鹿こども園	 86
		北沼上こども園	 96
VI	公益事業	居宅介護支援事業	居宅介護支援センター白寿 .. 107
2	付属明細書		111

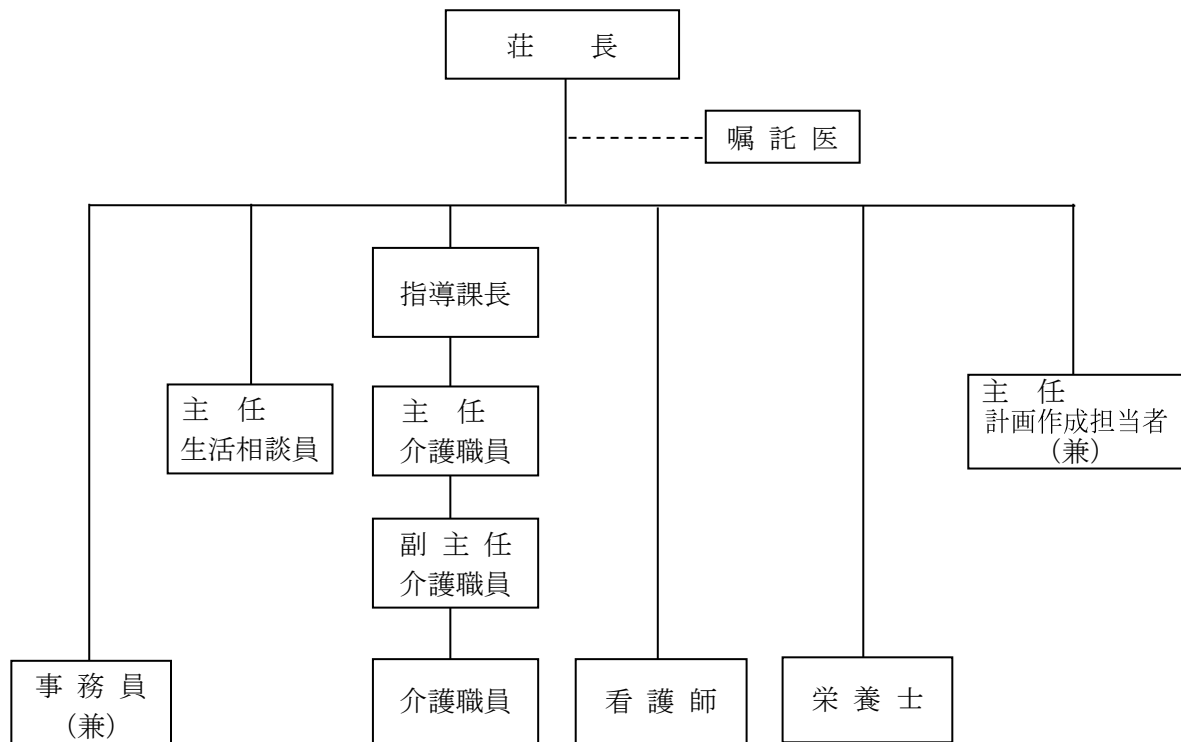
協 会 組 織

組 織 図（令和7年4月）

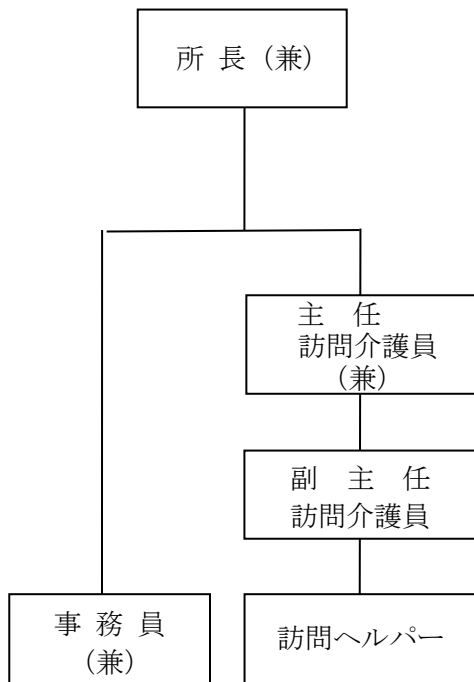
（協 会）



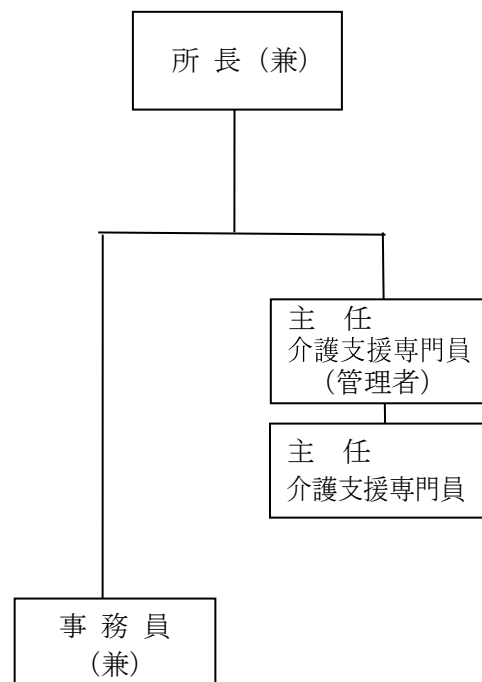
(ケアハウス白寿荘)



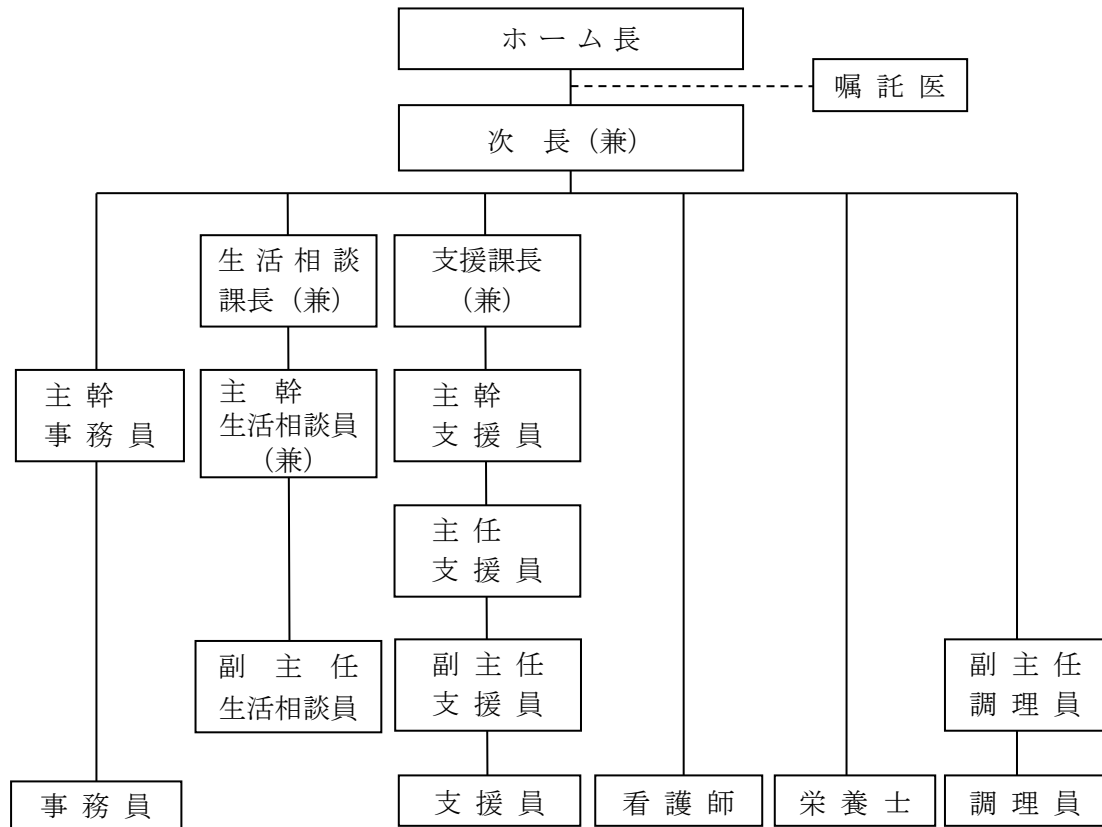
(ヘルパーステーション白寿)



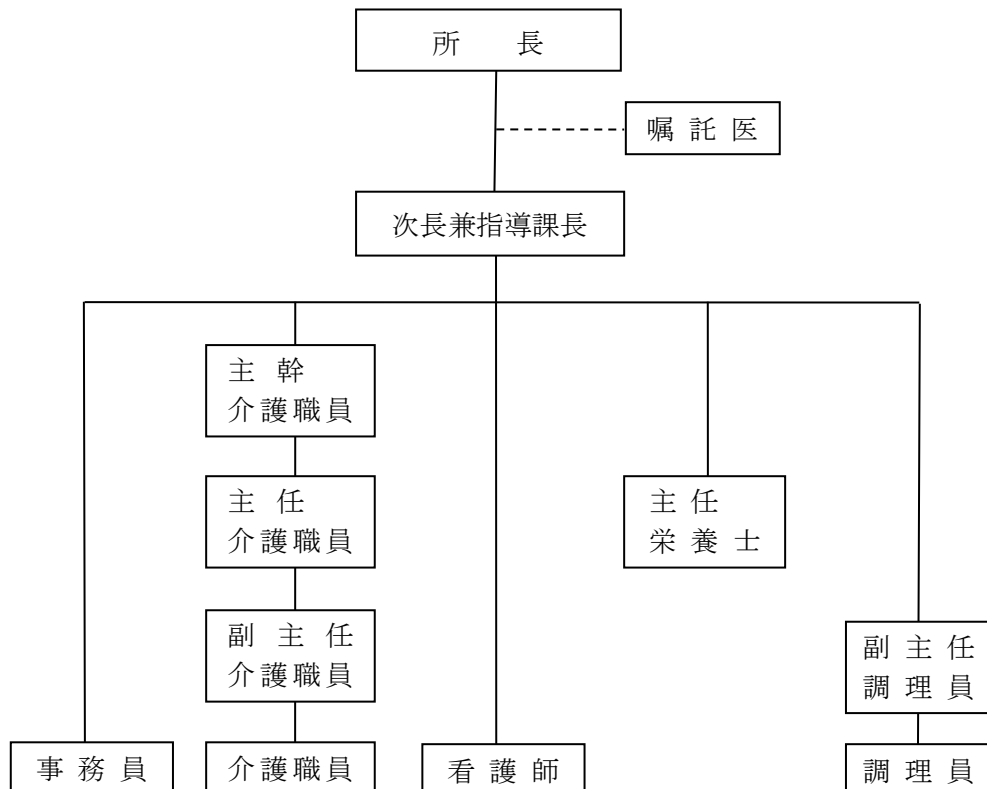
(居宅介護支援センター白寿)



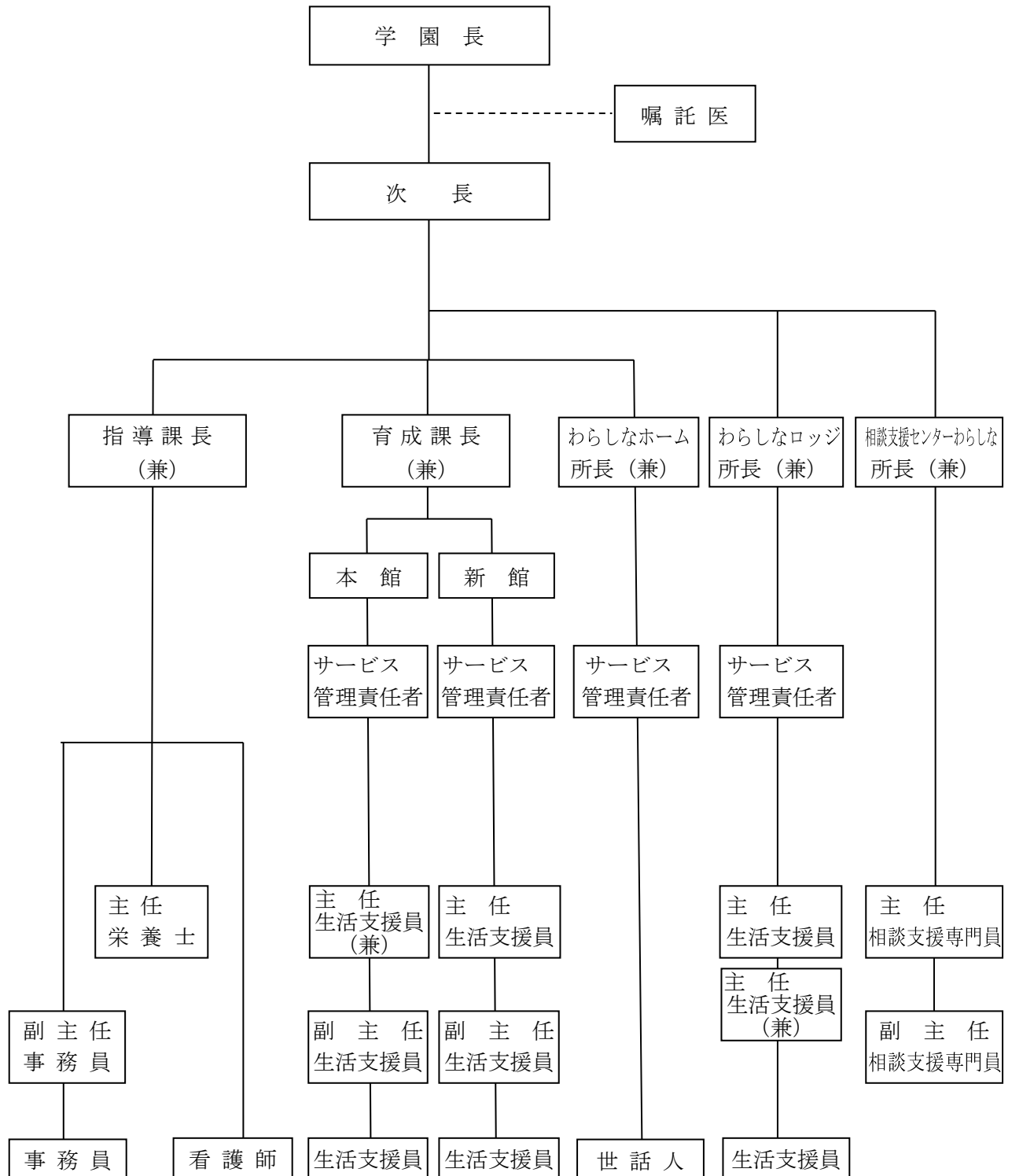
(静岡老人ホーム)



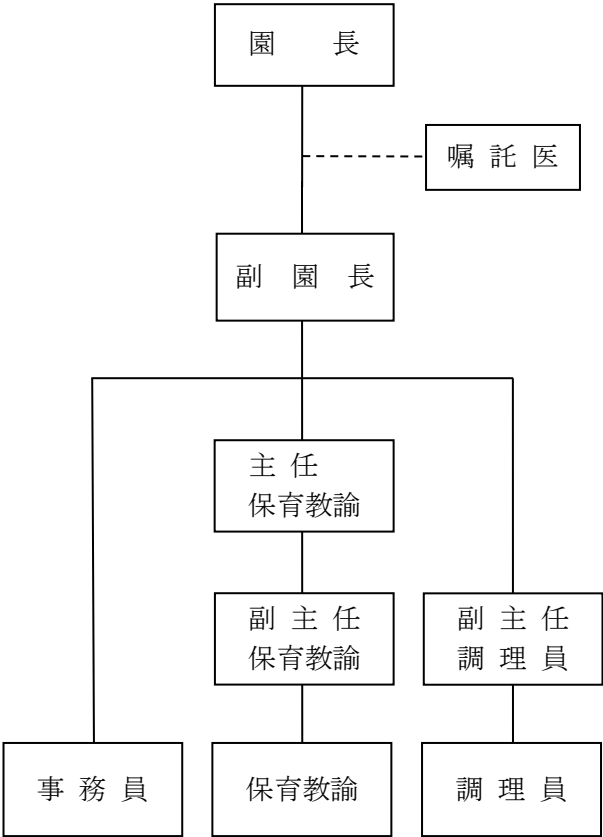
(静岡市救護所)



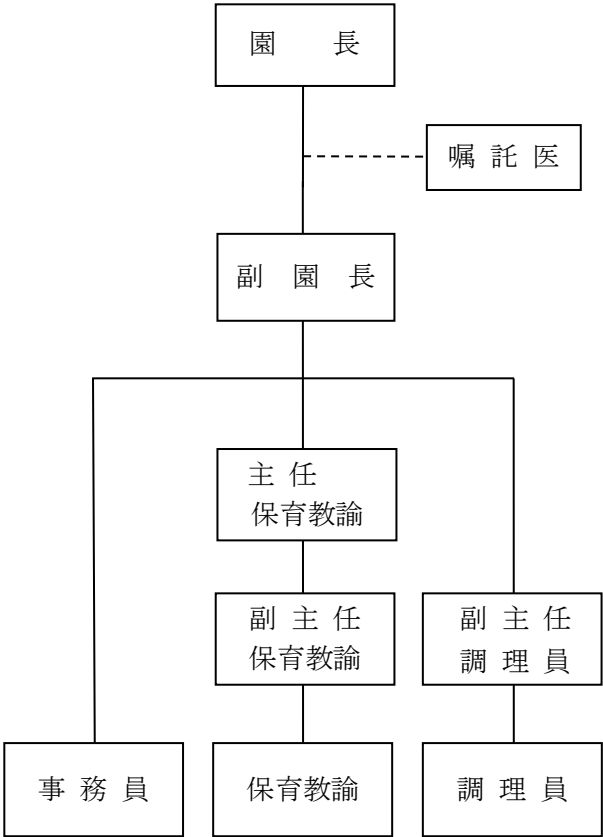
(わらしな学園)
 (共同生活援助事業所『わらしなホーム』)
 (わらしなロッジ)
 (相談支援センターわらしな)



(小鹿こども園)



(北沼上こども園)



本 部

1 主要事業報告

(1) 社会福祉充実計画（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

ア 設備等整備事業

各施設の経年劣化した浴室や厨房などの設備を更新したほか、不具合個所の修繕等を行った。

(2) 組織人事の活性化（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

ア 若年層採用拡大に係る求人対策の強化

(ア) 近隣大学、短大、専門学校等への求人活動

全15校（介護職：計3回、保育職：計1回）

学校訪問や大学が活用している求人受付NAV I、キャリアタスUC（大学に求人依頼を行うことができるインターネットサービス）を利用した求人活動を行ったほか、浜松市等の市外の学校や近隣の県外の学校にも求人票を送付した。

その結果、保育職を希望する学生2人（マイナビ経由）、介護職を希望する学生2人（マイナビ、ホームページ経由）から応募があり、そのうち3人を採用（4人合格（内1人辞退））することができた。今後も継続して求人活動を行っていく。

(イ) 高等学校への求人活動

11月に介護職の求人を市内の高等学校6校に行った。今後も継続して求人活動を行っていく。

(ウ) マイナビ等を活用した求人活動

情報収集者：30人

内協会就職説明会参加者：9人（内1人：オンライン説明会）

採用試験に3人の学生から応募があり、そのうち2人を採用（3人合格（内1人辞退））することができた。今後も継続して求人活動を行っていく。

(エ) 協会独自の就職説明会を実施

参加予約者：20人（新卒14人、中途6人）

参加者：18人（マイナビ9人〔新卒〕、
ホームページ5人〔新卒3人、中途2人〕、
県社協1人〔中途〕、ハローワーク2人〔中途〕、
就職フェア経由1人〔中途〕）

内採用者：8人（新卒4人、中途4人）

今後も継続して説明会を実施していく。

(オ) 県社会福祉協議会等が主催する就職説明会等への参加

県社会福祉協議会主催

- ・「福祉の就職相談会」：2回（7月、3月）
面談者17人（学生7人、一般10人）
- ・「保育のお仕事フェア」：1回（7月）
面談者6人（学生5人、一般1人）

市こども未来局主催

- ・「しずおか教育・保育就職フェア」：1回（3月）
面談者1人（学生1人）

NEXTワークしずおか主催

- ・「藁科街道お仕事面談会（ミドル・シニア世代向け）」：1回（11月）
面談者12人（一般12人）

(カ) その他：内定者向け

県社会福祉協議会主催

- ・「令和8年静岡県福祉職合同入職式」（グランディエールブクトーカイ）
参加者5人（事務員3人、保育教諭2人）
静岡県内（中部）に4月から勤務予定者と合同で入職式を行い、静岡県立大学短期大学部の講師による講演とグループワークを行った。

今後も継続して県社会福祉協議会等が主催する様々な求人活動に参加していく。

【若年層採用結果】〔新卒〕

単位：（人）

職 種	受 験 者	合 格 者	辞 退 者	採 用 者
事 務 員	1 2	3	0	3
介 護 職	2	2	1	1
保育教諭	2	2	0	2
計	1 6	7	1	6

【中途採用結果】

単位：（人）

職 種	受 験 者	合 格 者	辞 退 者	採 用 者
事 務 員	5	2	1	1
介 護 職	7	4	0	4
調 理 員	2	2	0	2
計	1 4	8	1	7

イ 人材育成

- 新たに採用した者を対象に、当法人の歴史と組織、社会的役割や使命を説明するとともに、職員としての心構えや危機管理、規則等を学ぶ研修を実施した。

ウ 組織の活性化と適材適所の人事配置

安定的な協会・施設運営の継続、長期的経営ビジョン、組織の活性化と適材適所の観点から人事配置を行った。

・昇任：4人　・異動：5人

（３）人事評価制度の定着（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

- 管理職及び主幹を対象に、評価シートの業務目標や達成水準等の記入方法を指導した。

（４）感染防止対策（安全・安心の確保）

ア 感染症対策徹底

新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染予防策の徹底を周知した。

今後も全職員が福祉施設で勤務していることを良く理解し、高い意識を持って感染症対策に努めるよう周知していく。

(5) 業務継続計画（安全・安心の確保、健全な経営の確保）

ア 「安否コール」 掲示板の立ち上げ

日 時	警 報 等	被 害 等
9 月 1 日	総合防災訓練（地震想定） 静岡老人ホーム・静岡市救護所・	—
2 月 19 日 8 時 25 分	静岡市厚生事業協会 B C P 総合防災訓練 （地震想定）	—

イ B C P 総合訓練

- 業務継続計画に基づき、令和 8 年 2 月 19 日に法人全体の B C P 総合訓練を実施した。
訓練の主要テーマを「災害発生から B C P 発動までの、本部と各施設との情報連絡訓練と全職員の安否確認」に定めて実施した。
- 職員個々の安否状況の確認が取れるシステム「安否コール（安否確認）」を活用した状況確認、「安否コール掲示板」を活用した本部と各施設との情報連絡訓練を行った。
- 「安否コール掲示板」のシステム操作を複数の職員が扱うことができるよう反復実施した。
- 「安否コール（安否確認）」については、回答率が 95%だった。職員全員の安否確認が迅速に把握できるようになることを目標に、職員の理解と意識を高めるよう周知徹底のほか定期的に訓練を実施していく。

ウ 設備・備品の点検、在庫管理

- 業務継続計画に基づき、各施設の設備・備品の点検、在庫管理を実施した。

(6) 北沼上こども園園舎建替計画の推進（健全な経営の確保）

北沼上こども園が位置する静岡東地区の配置適正化について市に確認したところ、現在、市の総合計画の見直しを行っているところであり、令和 4 年度から進んでいない。また、並行して新たな民有地を探しているが、現在の建築材料や人件費等の高騰などにより、民有地の取得又は賃借した上で建物を建築して運営していくことは難しい状況である。このため、市の配置適正化を考慮した判断となるため建替の時期は不透明な状況となっている。

こうした状況を踏まえ、現園舎の保全を図るため、老朽化した設備を補助金等を活用しながら修繕を実施した。

今後も市こども未来局と連携を密にして引き続き移転が進むように努めていく。

2 静岡市厚生事業協会役員

単位：（人）

区 分	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
理 事	4	2	6	4	2	6
監 事	2	1	3	2	1	3
評 議 員	5	2	7	4	3	7
評議員選任・ 解任委員	3	—	3	2	1	3

3 役員会等開催状況

開催日・場所	会議名	会 議 内 容
令和7年4月1日 (提出)	理事会 (理事会の 決議の省略)	【議 案】 常務理事の選定について
令和7年5月21日 5月23日 本部事務局 会議室	協会監査	【決算監査】 [監査員] 石川監事、伊澤監事、望月監事 [監査内容] 決算監査 [監査講評] 業務の執行状況並びに財務の状況について、 適正に処理されていることが認められた。
令和7年6月4日 ペガサート6階 プレゼンルーム	理事会	【議 案】 ● 令和6年度事業報告について ● 令和6年度決算について ・ 計算書類 資金収支計算書・事業区分資金収支内訳表及 び拠点区分資金収支計算書 事業活動計算書・事業区分事業活動内訳表及 び拠点区分事業活動計算書 貸借対照表・事業区分貸借対照表内訳表及び 拠点区分貸借対照表 ・ 付属明細書 ・ 財産目録 ● 居宅介護支援センター白寿運営規程の一部改正 について

		● ヘルパーステーション白寿運営規程の一部改正について ● 新理事及び新監事候補者案の評議員会への付議について ● 令和7年度定時評議員会の招集について ● 静岡市厚生事業協会新評議員候補者の推薦について ● 令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について ● 新評議員選任・解任委員の選任について 【報 告】 ● 予備費の使用について
令和7年6月10日 本部事務局 会議室	評議員選任・ 解任委員会	● 新評議員候補者の選任について
令和7年6月19日 ペガサート6階 プレゼンルーム	定時評議員 会	【議 案】 ● 令和6年度事業報告について ● 令和6年度決算について ・ 計算書類 資金収支計算書・事業区分資金収支内訳表及び 拠点区分資金収支計算書 事業活動計算書・事業区分事業活動内訳表及び 拠点区分事業活動計算書 貸借対照表・事業区分貸借対照表内訳表及び 拠点区分貸借対照表 ・ 付属明細書 ・ 財産目録 ● 新理事及び新監事の選任について
令和7年6月19日 (提出)	理事会 (理事会の 決議の省略)	【議 案】 ● 理事長及び常務理事の選定について
令和7年10月6日 ペガサート6階 プレゼンルーム	理事会	【議 案】 ● 令和7年度資金収支補正予算について 【報 告】 ● 理事長及び常務理事による職務執行状況報告について

令和7年11月12日 本部事務局 会議室	協会監査	【事業計画に基づく事業の進捗状況等業務監査】 [監査員] 伊澤監事、望月監事、鈴木監事 [監査内容] 1 事業計画の進捗状況 2 重要事項及び課題懸案事項等の進捗状況 3 第1回監査時の指摘事項・要望事項等の改善状況 4 委託業務等契約の執行状況 [監査講評] 1 事業計画の進捗状況 各施設とも利用者の要望を取り入れ創意工夫をしながら事業を実施しており事業計画は順調な進捗状況であると評価を受けた。 2 重要事項及び課題懸案事項等の進捗状況 施設整備計画及び入所通所利用者の確保等施設の安定した事業運営と円滑な施設運営に各施設とも積極的に取り組んでいる状況であり、また、法改正や社会状況の変化にしっかりと対応されていると評価を受けた。 今後も、利用者サービスの更なる向上、安全・安心の確保、健全な経営の確保に引き続き努めるよう求められた。 3 第1回監査時の指摘事項の改善状況 各施設とも指摘事項を真摯に受け止め、解決に向けて取り組んでおり、そのほとんどが解決され、一部未解決の事業についてもその方向性は課題を的確に捉えて見直しを実施している状況であると評価を受けた。 4 委託業務等契約の執行状況 各施設とも法人の「委託業務等業者選定委員会」により入札等に参加する者に必要な資格の審査や選定が合理的に行われており、今後も引き続き適切な業者選定となるよう公平、公正、競争原理に基づく契約事務に努めるよう求められた。また、単独随意契約についてはその理由を明確にするとともに、単独が適正であるかを改めて確認するよう求められた。
-------------------------------------	-------------	--

令和8年3月11日 ペガサート6階 プレゼンルーム	理事会	● 令和7年度前期末支払資金残高の取り崩しについて ● 令和8年度前期末支払資金残高の取り崩しについて ● 令和7年度資金収支補正予算について ● 令和8年度事業計画について ● 令和8年度資金収支予算について ● 給与規程の一部改正について ● ヘルパーステーション・白寿運営規程の一部改正について ● 小鹿こども園園則の一部改正について ● 北沼上こども園園則の一部改正について ● 施設長の任免について ● 理事の解任及び新理事候補者案の評議員会への付議について ● 令和7年度第2回評議員会の招集について 【報 告】 ● 予備費の使用について ● 令和7年度静岡市指導監査結果報告について ● 令和7年度第2回法人監事監査結果報告について ● 理事長及び常務理事による職務執行状況報告について ● 令和8年度職員の人事異動について
令和8年3月12日 (提出)	評議員会 (評議員会の 決議の省略)	【議 案】 ● 理事の解任及び新理事候補者の選任について

4 市指導監査状況

開催日・場所	会議名	内 容	
令和7年 12月9日～ 12月12日 各施設	市指導監査	ケアハウス白寿荘	12月10日
		静岡老人ホーム	令和7年度指導監査 対象外施設
		静岡市救護所	12月9日
		わらしな学園	12月12日
		小鹿こども園	書面監査
		北沼上こども園	書面監査
		会計処理や事務手続き等について監査を受けた。 ・文書指摘事項、その他の指摘事項等は無し。	

5 職員数（法人全体）

単位：（人）

区 分	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
施設長等	5	2	7	5	2	7
福祉職（※）	31	37	68	31	36	67
保育教諭		26	26		25	25
看護師		5	5		5	5
栄養士		4	4		4	4
調理員	4	4	8	4	5	9
事務員	1	5	6	2	7	9
契約職員	8	64	72	8	70	78
嘱託医	14		14	14		14
合 計	63	147	210	64	154	218

（※）福祉職は、介護職員、支援員、生活相談員、ヘルパー等

6 協会研修

項 目	活 動 内 容	
実務能力向上研修 予算の仕組みと 編成の仕方 (※)	内 容	予算の考え方、令和8年度の編成上留意点
危機管理研修 業務継続計画	内 容	業務継続計画の内容を理解する (各施設で施設長が実施)
階層別研修 新規採用職員 研修ノート	1 実施日 2 受講者 3 内 容	令和7年4月1日～令和8年3月31日 令和7年度新規採用職員（新卒者） 5人 （中途採用者） 1人 法人組織の理解、配属先施設の役割と理解、育成担当者との相談等
階層別研修 新規採用職員	1 実施日 2 受講者 3 内 容	令和7年4月4日 令和7年度新規採用職員（新卒者） 5人 （新採者） 2人 ・協会の歴史と組織、使命について ・職員としての心構え ・危機管理について ・職員就業規則、給与規程、福利厚生等について ・3分間スピーチ ・グループワーク（座談会）
専門研修 業務推進責任者	1 実施日 2 受講者 3 内 容	令和7年4月17日 各施設の業務推進責任者 6人 ・令和6年度事業報告書の内容の検討・調整について
	1 実施日 2 受講者 3 内 容	令和8年1月16日 各施設の業務推進責任者 6人 ・令和8年度事業計画書の内容の検討・調整について
専門研修 事務担当者会議	1 実施日 2 受講者 3 内 容	令和7年 4月24日、令和7年 7月31日 令和7年 8月28日、令和7年 9月25日 令和7年10月30日、令和7年11月27日 令和7年12月25日、令和8年 3月26日 各施設の事務員 7人 ・各種手続き等に関する件について ・事務マニュアル作成
計	実施回数 14回	参加者 81人

(※) 1月に本部で実施した各施設との予算ヒアリングの中で、令和8年度の予算編成上の留意点を説明した。

7 外部研修

項 目	研 修 内 容
新規採用予定職員研修会 (一般社団法人静岡県保育連合会主催)	1 実施日 令和8年2月16日～17日 2 受講者 令和8年4月新規採用 保育教諭 2人 3 内 容 令和8年度の保育所・認定こども園新規採用予定職員に対して、職員としての必要な教育、心構えを習得が目的の研修会。
静岡県福祉職合同入職式 (県社会福祉協議会主催)	1 実施日 令和8年3月3日 2 受講者 令和8年4月新規採用 事務員3人、保育教諭 2人 3 内 容 静岡県内(中部)の社会福祉事業に4月から勤務予定の者への合同入職式及び研修会を行った。
介護職員初任者研修 (三幸福祉カレッジ)	1 実施日 令和7年6月2日～11月25日 2 受講者 令和7年4月新規採用 介護職員 1人 3 内 容 介護職として働く上で必要になる基礎的な知識と技術の習得を目指す研修会。
社会福祉法人施設事務職員研修 (県社会福祉協議会主催)	「経理応用講座」、「予算管理講座」、「財務管理講座」、「決算実務講座」

8 職員数(本部)

単位：(人)

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
常務理事兼事務局長	1		1	1		1
総務課長	1		1	1		1
事務員		1	1		2	2
計	2	1	3	2	2	4

9 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	1人	
	年 1 回	市医師会	2人	
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	3人	全職員 (10月在職者)

ケアハウス白寿荘

1 主要事業の報告

(1) 利用者サービスの維持・向上（利用者サービスの向上）

- ア 居室訪問や利用者への嗜好調査、ご家族・身元様に向けたアンケート調査から利用者のニーズを把握し、利用者に合わせたサービスを提供することで、その人らしい生活が出来るよう支援した。
- イ ADL（日常生活動作）とQOL（生活の質）の向上を目指し、その人らしく快適な社会生活が営めるよう運動や外出の機会を提供したり、個々の状態にあわせて生活面の支援に努めた。

(2) 危機管理体制の強化（安全・安心の確保）

ア 防災対策の強化

毎月様々な状況を想定した避難訓練を実施することで、職員・利用者の防災意識の高揚・対応力の向上に努めた。家族会では、家族と一緒に持出袋や居室内の危険箇所の点検を行い、防災意識を高めた。また、災害時も事業を継続する事ができるよう、BCP訓練を行い、課題の洗い出しとマニュアルの見直しを行った。

大雨による浸水被害に備え、水囊等の必要物品を購入し、有事の際に備えた。

イ 感染対策の継続

新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症を予防する為、標準予防策の徹底を図った。また、感染予防の為の環境整備として感染症陰圧ブースや備品の管理、国・県・市の動向に注視し情報収集、職員の研修と発生時の訓練等を行う事で、感染対策の強化を図った。

感染症が発生した時の対応訓練を実施し、現状に合わせて業務継続計画を見直した。看護師を中心に内部研修を行う事で、職員の感染症に対する意識や対応力の向上に努めた。

(3) 地域との連携強化（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

小鹿公園の清掃活動や地域の防災訓練、小鹿二丁目町内会秋祭りへの参加を通して、地域の一員として活動・交流を図ると共に、施設を地域に知って頂く機会とした。

(4) 経営の安定（健全な経営の確保）

入所に関する相談を幅広く受ける事で、入所に繋がる様努めた。また、ホームページで空き状況や施設の取組を発信することで相談に結び付けたり、地域の地域包括支援センターやシニアサポーター等地域との交流を深めることで、認知度をあげ、入所に繋がる様努めた。

(5) 環境整備（利用者サービスの向上、安全・安心の確保）

電波法の改正に伴うナースコールの整備について、各メーカーのナースコールシステムについて調査を行うと共に、デモにも参加し製品説明を受けた。今後施設に適合したシステムの仕様を固めていく。また、施設の老朽化に伴う修繕については、修繕箇所に対し、適時対応すると共に、法定点検等による指摘箇所についても対応した。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
荘 長	1		1	1		1
指導課長		1	1			0
指導課長兼主幹相談員			0		1	1
主任介護支援専門員 （兼務）		(1)	(1)		(1)	(1)
主任生活相談員		1	1			0
主任介護職員		1	1		2	2
副主任介護職員		1	1		1	1
介護職員		3	3		2	2
契約介護職員			0		1	1
パート介護職員 （うち1名兼務）		1	1		1 (1)	1 (1)
看護師		1	1		1	1
栄養士		1	1		1	1
パート栄養士		1	1			0
事務員			0		1	1
契約事務員		1	1			0
嘱託医	1		1	1		1
計	2	1 2 (1)	1 4 (1)	2	1 1 (2)	1 3 (2)

※（ ）は外数

3 施設整備

項 目	内 容
2・3階ベランダ側溝防水シート修繕	2・3階ベランダの側溝の防水シートが劣化により複数箇所破損した為、側溝洗浄・プライマー塗装・ウレタン防水修繕実施。
事務所空調機器取替工事	事務所の空調機器の室外機から異音が発生し、空調機能が不調の為、新しい機器に交換。
浴室給湯器機取替工事	浴室給湯器故障の為、新しい給湯器へ取り替え工事を行う。

4 職員研修（年間）

単位：（回） （人）

職部門	研修内容	主催者等	回数	参加 延人数
管理職	県支部 施設長研修(働き易い職場づくり)	県老人福祉施設協議会	1	1
	県支部 施設長研修(社会福祉施設のDX)	県老人福祉施設協議会	1	1
	中部支部 施設長研修(倫理経営講演会)	県老人福祉施設協議会	1	1
	中部支部 施設長研修(組織基盤診断)	県老人福祉施設協議会	1	1
	軽費委員会 施設長研修(法人経営)	県老人福祉施設協議会	1	1
相談員	こころスッキリ！福祉職のためのストレスマネジメント講座	県社会福祉協議会・ 県社会福祉人材センター	1	1
介護 支援 専門員	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー	県社会福祉協議会・県 社会福祉人材センター	1	1
介護 職員	甲種防火管理新規講習	市消防局予防課予防係	1	1
	介護職のためのすぐに役立つ医学知識	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者・障がい者のための感染症講座 (初級編)	県社会福祉協議会	1	1
	腰痛予防のための福祉用具の使用1	静岡市地域リハビリテ ーション推進センター	1	1
	「動き出しは本人から」の介護実践	県社会福祉協議会	1	1
	福祉現場に必要な研修プログラムと育成視 点	県社会福祉協議会	1	1
	はじめて福祉の仕事に就くあなたへ	県社会福祉協議会	1	1
	市民向け講座 腰痛予防のための福祉用具 の使用1	静岡市地域リハビリテ ーション推進センター	1	1
	社会福祉施設等職員防災研修会	静岡県健康福祉部	1	1
看護師	福祉施設で役立つフットケア講座	県社会福祉協議会	1	1
	フットケア講習会	静岡済生会総合病院	1	1

栄養士	給食管理システム研修	公益社団法人 静岡県 栄養士会	1	1
	食中毒予防のための衛生講習会	市保健所食品衛生課	1	1
	第1回栄養講習会	市保健所食品衛生課	1	1
	福祉・介護施設職員向け感染症対策研修	県健康福祉部	1	1
事務員	社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人・予算管理講座	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人・財務管理講座	県社会福祉協議会	1	1
	社会福祉法人の決算管理	県社会福祉協議会	1	1
全職員	(内部研修)			
	BCP 感染症研修 (新規採用者含む)	施設内	2	1 2
	BCP 感染症訓練 (新規採用者含む)	施設内	2	1 2
	虐待防止研修 (新規採用者含む)	施設内	2	2 0
	身体拘束廃止・防止研修 (新規採用者含む)	施設内	2	1 7
	A E D ・心肺蘇生研修 10/7	駿河消防署	1	8
	感染症研修	施設内	2	8
	感染症訓練 (実技)	施設内	2	5
	BCP 実働訓練	施設内	2	1 1
	BCP 机上訓練 (新規採用者含む)	施設内	2	1 9
	BCP 実動訓練 (新規採用者対象)	施設内	3	3
	BCP 机上訓練 (新規採用者対象)	施設内	5	5
	計		5 1	1 4 6

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	1 2 人	婦人科検診・付加検診・対象者実施
夜勤者等健診 (腰痛検診含む)	年 1 回	板井クリニック	7 人	夜勤従事職員等
ストレスチェック	年 1 回	聖隷サポート センター	1 3 人	全職員 (10 月在職者)
検便 (赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157)	年 2 回	(株) マルマ	1 4 人 1 4 人	全職員 6 月 1 2 月

6 施設利用人員

【定員：50人】

単位：（人）

	男	女	計
令和7年度当初	20	25	45
入所者	1	9	10
退所者	4	5	9
令和7年度末	17	29	46

7 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
独居困難（食事支度困難等）	5	9	14
独居不安（孤独・緊急時リスク等）	4	10	14
将来不安	3	0	3
生活不安	1	1	2
家族との同居困難（DV等）	0	1	1
施設移動	4	2	6
生活環境の転換	0	2	2
同世代の人と生活希望	0	1	1
立ち退き	0	3	3
計	17	29	46

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
他施設へ転出	3	4	7
死亡	0	1	1
自宅復帰	1	0	1
計	4	5	9

9 利用者の年齢(令和8年3月31日)

60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
1人	8人	22人	15人	46人	84歳 5か月	101歳

10 利用者の在籍年数(令和8年3月31日)

2年未満	2～4年	5～9年	10年以上	計	平均年数	最高年数
13人	16人	10人	7人	46人	4年 7か月	14年 9か月

11 利用者の状況(令和8年3月31日)

(1) 歩行状態

単位：(人)

区 分	車椅子	歩行器	シルバーカー	杖	自 立	計
人 数	1	8	11	2	25	47

(2) 介護保険認定者

単位：(人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
5	10	13	8	1	0	0	37

※【要支援・要介護区分】

要支援・要介護とは、日常生活の中でどの程度の介護(介助)を必要とするのか、介護の度合いをあらわす指標です。要介護の判定は、厚生労働省が基準を定める、「要介護認定基準時間(介護にかかる時間)」をベースに7段階に区分され、それに「自立」を合わせて合計8段階に分けられています。区分の種類としては、最も介護度が軽い「要支援1」から、最も重い「要介護5」まであります。

(3) 介護保険サービス利用状況

サービスの種類	利用人員/年	利用延回数
訪問介護サービス(ヘルパー)	9人	227回
通所介護サービス(デイサービス)	16人	1052回

(4) 障害者手帳所持者

単位：(人)

身体障害者手帳	障害手帳(精神)	療育手帳(知的)	計
5	1	0	6
1級(2) 2級(1) 3級(1) 4級(1) 5級(0)	1級(0) 2級(0) 3級(1)	A(0) B(0)	

12 利用者の健康診断状況等

内 容	実施時期	備 考
健康診断 (聴診・血液検査・胸部レントゲン 検査・心電図・尿検査)	5月～10月	板井クリニック (板井医師) 他、かかりつけ医
胸部レントゲン検査	9月	静岡済生会総合病院健康管理センター 他、かかりつけ医
インフルエンザワクチン接種	10・11月	板井クリニック (板井医師) 他、かかりつけ医
身長、体重、血圧	毎月	看護師

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・白寿会集会 (利用者による全員集会) ・身体・血圧測定 ・嘱託医往診 (特定利用者のみ、第2、4水曜日) ・健康診断 (定期健康診断) ・老人体操、館内ウォーキング ・こども園交流会 ・レクリエーション会 (レクリエーションとおやつ提供) ・誕生会 (食堂で紹介、プレゼントを渡す。) ・クラブ活動 (カラオケ、毎週火曜日) ・娯楽 (新聞、雑誌) ・居室訪問 (利用者居室の使い方確認) ・奉仕活動 (小鹿公園清掃) ・老人相談事業 (入所相談) ・白寿荘便り発行	・職員会議 ・処遇会議 ・サービス担当者会議 ・介護職会議 ・栄養管理委員会 ・感染症対策委員会 ・身体拘束廃止委員会 ・施設安全管理委員会 ・虐待防止委員会 ・苦情相談第三者委員会 ・虐待防止第三者委員会 ・防災訓練、避難誘導訓練 ・BCP訓練・研修 (防災) ・BCP訓練・研修 (感染症) ・慰問、ボランティア受け入れ ・実習生・体験学習受け入れ

(2) クラブ活動 (年間)

クラブ名	講 師	回 数 (回)	参加人員 (人)
カラオケ	児玉歌謡教室	5 2	7 3 0
折り紙	静岡レクリエーション 協会会長	4	5 8
計		5 6	7 8 8

(3) ボランティア受け入れ、慰問等

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
ハーモニカ演奏・ウクレレ (4月お楽しみ食事会)	シニアサポーター (S・tones)	1	8
音楽コンサート (6・2月食事会、10月 レクリエーション)	♪ぬくぬく	3	1 1
春のお茶会	理事他1名	1	2
B e S u p p o r t e r s プロジェクト	Jリーグ(清水エスパルス)	1	2
尺八演奏 (11月食事会、1月慰問)	カラオケ尺八洋翠	2	4
演奏会 (クリスマス・忘年会)	シニアサポーター (森の音楽隊)	1	4
計		9	3 1

(4) 介護体験の受け入れ

単位： (人)

学校名	期 間	内 容	人員	延人数
静岡大学 教育学部	令和7年8月18日～ 8月22日	教員免許取得の為 の介護体験	1	5
静岡大学 教育学部	令和7年10月20日～ 10月24日	教員免許取得の為 の介護体験	2	1 0
静岡大学 教育学部	令和7年11月17日～ 11月21日	教員免許取得の為 の介護体験	1	5
計			4	2 0

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想 定 時間帯	訓 練 内 容
4月17日	地震想定	平日午後	避難進路の確認、避難誘導
4月28日			防災設備点検（機器点検、総合点検）
5月26日	豪雨による 浸水想定	平日午後	避難経路の確認、避難誘導
6月30日	火災想定	平日午前	避難経路の確認、避難誘導
7月10日	地震想定	平日夜間	避難経路の確認、避難誘導 白寿荘緊急時職員連絡網訓練
8月20日	火災想定	平日午後	避難経路の確認、避難誘導
9月12日			敬老会・家族会にて身元と一緒に持出袋確認 居室内の危険箇所確認
9月16日			防災ビデオ視聴・防災リュック確認
10月28日	地震からの 火災想定	平日午前	〈総合防災訓練〉 避難経路の確認、避難誘導 防災設備作動・通報訓練・水消火器訓練 屋内消火栓設備の使用法確認・スプリンクラー 制御使用法確認・救助袋使用法確認 防災設備点検（機器点検・総合点検）
11月21日	豪雨による 浸水想定	平日午後	避難経路の確認、避難誘導
12月 7日		平日午前	〈地域防災訓練〉 黄色いタオルを使用した安否確認訓練
12月19日			設備確認、ガスボンベ式のインバータ発電機 蓄電池・灯光器の使用法確認
1月30日	火災想定	平日午前	避難経路の確認、避難誘導
2月24日	地震想定	平日午後	避難経路の確認、避難誘導
3月 5日			設備確認、ガスボンベ式のインバータ発電機 蓄電池・灯光器の使用法確認

14 敬老週間の行事

実施日	行 事 名	内 容
9月 12日	敬老の日祝典	利用者を敬愛し長寿を祝う。 ・百寿祝 1人 ・米寿 1人 ・傘寿 4人

15 季節的行事

月	行事内容
4	24日 春のお楽しみ食事会（春のお弁当（魚国総本社）、シニアサポーターによる音楽レクリエーション）
5	2日 菖蒲湯、こいのぼり壁面作成 22日 春のお茶会
6	12日 特定レクリエーション（花の鉢植え） 19日 お楽しみ食事会（ぬくぬくレク、サンドイッチメニュー提供）
7	3日 七夕飾りつけ 15日 施餓鬼供養 17日 レクリエーション会（福子様の訪問販売）
8	23日 レクリエーション会（お菓子作り）
9	12日 敬老式典・家族会（白寿荘の取り組みについて説明）こども園交流（歌のプレゼント、ふれあい遊び）・特定利用者と児童館児童交流等 お礼にポケットティッシュをプレゼント
10	4日 町内秋祭り（白寿荘の紹介ブース、出店） 9日 レクリエーション会（しぞ～かちやきちやき体操） 20日 特定おやつクッキング（あんみつ作り） 27日 特定個別外出（用宗方面ドライブ、ジェラート購入）
11	11日 特定個別外出（AM用宗方面ドライブ、ジェラート購入） 11日 特定個別外出（PM日本平方面ドライブ、散策、売店で買い物） 18日 お楽しみ食事会（シニアサポーターによる楽器演奏、寿司提供）
12	16日 クリスマス・忘年会（ボランティアの演奏会、クリスマスメニュー提供） 22日 ゆず湯
1	5日 年賀交歓会（新年挨拶、甘酒・お菓子提供） 6日 特定個別外出（伊勢神明社初詣） 15日 特定個別外出（伊勢神明社初詣） 29日 特定個別外出（久能街道方面ドライブ、ペイドリームでお茶）
2	3日 節分豆まき（豆まき、お菓子・甘酒・福菓子提供） 19日 お食事会（ぬくぬくレク・選択メニューかつ丼または天丼）
3	3日 ひな祭り（壁面作成・ひな祭り献立提供） 12日 レクレーション会（DVD鑑賞・飲み物提供）

16 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時期	場所	参加人数（単位：人）		
			利用者	住民	計
小鹿二丁目町内会 秋祭り	10月	小鹿児童公園	37	100以上 (推定)	37 ※利用者のみ
児童公園清掃	4回	小鹿児童公園	16	98	114

(2) 老人福祉相談事業

単位：（件）

来 所	電 話	その他	計
9	89	2（別件で来荘時に相談あり） 4（協会本部へのメール）	104

(3) こども園交流事業

行 事 (小鹿こども園)	実 施 日	参加人数（単位：人）		
		利用者	園 児	計
なかよし体操	木曜日 (22回)	354	809	1163
敬老交歓会	9月12日	41	33	74
運動会	10月18日	23	100	123

17 ケアハウス白寿荘の利用実績

【年間利用目標〔目標値〕：16,972 人】

単位：(人×日＝延人数)

月	ケアハウス	特 定	計
4	9 3 3	3 9 4	1, 3 2 7
5	9 4 0	4 2 5	1, 3 6 5
6	8 9 9	4 1 0	1, 3 0 9
7	9 1 8	4 4 6	1, 3 6 4
8	9 3 5	4 2 9	1, 3 6 4
9	9 1 6	4 0 5	1, 3 2 1
1 0	9 4 2	4 0 3	1, 3 4 5
1 1	9 3 6	3 9 9	1, 3 3 5
1 2	9 5 3	4 2 8	1, 3 8 1
1	9 6 4	4 5 5	1, 4 1 9
2	9 0 9	4 0 6	1, 3 1 5
3	9 7 0	4 6 5	1, 4 3 5
計〔実績〕	1 1, 2 1 5	5, 0 6 5	1 6, 2 8 0
開所日数(日)	3 6 5	3 6 5	3 6 5
1 日平均利用者数	3 0. 7	1 3. 9	4 4. 6
達成率（〔実績〕÷〔目標値〕×100 (%)）			9 5. 9 %

18 苦情相談解決結果

該 当 な し

19 その他

(1) 公衆電話の撤去及びPテレフォンの設置

N T T 西日本より、公衆電話の利用料が設置基準に満たない為、令和8年3月に撤去された。利用者の利便性を損なわない為、代替えとしてPテレフォンを設置した。

静岡老人ホーム

1 主要事業報告

静岡市指定管理業務の更新

静岡市静岡老人ホーム及び静岡市救護所については、静岡市の指定管理者の選定の結果、当協会が、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間に指定管理者として指定される。

(1) 利用者サービスの向上（利用者サービスの向上）

加齢、疾病、障害など多様化する利用者形態をふまえ、一人ひとりのニーズに合わせたサービスをケアプラン検討会議、サービス検討会議、支援員会議等で検討した。また、eラーニングを取り入れ、必要な知識等の取得を図り、利用者サービスの質的向上に努めた。行政とは、情報共有を密にし、スピーディーな対応を図った。

令和5年度に「福祉サービス第三者評価」を受審した結果を踏まえ、年度当初には、各部署で改善の計画を立て、日頃のサービスに反映した。

(2) 危機管理体制の強化（安全・安心の確保）

ア 防災対策の強化

毎月、地震、火災を想定した避難訓練を行い、利用者に災害への意識付けをおこなった。静岡市救護所とともに利用者の生活シミュレーションに基づいた備えを検討した。また、水害を想定した訓練では、合同災害本部を立ち上げ、1階の利用者を2階に上げる垂直避難訓練を行った。

福祉施設防災の日に合わせ、静岡市消防局の協力のもと、静岡市救護所、わらしな学園、静岡老人ホーム（以下、「三施設」という）合同で訓練を行い、利用者の安全の確保の確認をした。

イ 感染対策の継続

手指消毒・手洗い・うがいの励行、換気、状況によりマスクの着用などの感染対策の徹底により、利用者の感染症発生はなかった。また、国や県・市の動向等の情報収集、対応物品の管理・補充を行い、感染対策の強化を図った。

(3) 地域との連携強化（利用者のサービスの向上、健全な経営の確保）

地域との交流を図るため、感染症対策を施し「みんなの夏まつり」を実施した。
「DAIDOGEI Small Party2025」においては、地域の南藁科小学校、藁科こども園、
また、同一法人内の小鹿こども園も招待し開催した。

また、「交通安全のぼり旗掲出作戦」を春、夏、秋、年末の交通安全運動時に行い、
安全意識の啓発と通学する南藁科小学校児童等の見守りを行った。

令和8年2月28日には、藁科生涯学習センターとの共催事業として、講演会「笑
って学ぼう落語で終活」を開催した。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
ホーム長	1		1	1		1
次長兼生活相談課長		1	1		1	1
支援課長兼主幹生活相談員	1		1	1		1
主幹生活相談員	1		1	1		1
副主任生活相談員		1	1		1	1
主幹支援員	1	1	2	1		1
主任支援員		1	1		1	1
副主任支援員	1	1	2	1	1	2
支援員	1	2	3	1	2	3
契約支援員		6	6		8	8
看護師		2	2		2	2
栄養士		1	1		1	1
副主任調理員	1		1	1		1
調理員	1		1	1	1	2
契約調理員		1	1		1	1
主幹事務員		1	1		1	1
契約事務員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
計	10	19	29	10	21	31

3 施設整備

項 目	内 容
防火シャッター修繕	点検で指摘された自動閉鎖装置の交換修繕
消防用設備等修繕	点検で指摘された誘導灯、感知器の交換修繕
エレベーター天井照明交換	経年劣化によるかご天井照明の交換(LED 化)
食堂外部軒天井修繕	経年劣化による外部軒天井と外壁の破損部分の改修
2 階支援員室給湯器取替	経年劣化により取替
ボイラー循環ポンプ取替修繕	経年劣化により取替修繕
厨房機器修繕	経年劣化による食器洗浄機の修繕
厨房内床一部長尺シート破損貼替修繕	経年劣化により貼替修繕

4 職員研修(年間)

単位： (回) (人)

職部門	研 修 内 容	主催者等	回数	参加 延人数
管理職	県老人福祉施設協議会施設長研修会	県老人福祉施設協議会	1	1
	中部地区公立養護老人ホーム連絡協議会施設長会議	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
	中部地区公立養護老人ホーム施設長・相談員研修会	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	2
	社会福祉法人予算管理講座	県社会福祉協議会	1	2
	社会福祉法人財務管理講座	県社会福祉協議会	1	2
	社会福祉法人決算実務講座	県社会福祉協議会	1	2
	第 14 回静岡県高齢者福祉研究大会	県老人福祉施設協議会	1	1
	減災教育について	北沼上こども園	1	1
生活 相談員	中部地区公立養護老人ホーム生活相談員研修会	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
	中部地区公立養護老人ホーム施設長・相談員研修会	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
	利用者家族と信頼関係を築くポイント講座 ～不安対応と苦情対応の基本～	県社会福祉協議会	1	1
	福祉サービス苦情解決研修会	県社会福祉協議会	1	1

支援員	中部地区公立養護老人ホーム支援員研修	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
	社会福祉事業者向け 社会福祉×生成A I	県社会福祉法人経営青年会	1	1
	高齢者・障害者施設のための感染症講座「中級編」	県社会福祉協議会	1	1
	介護職のためのすぐに役立つ医学知識	県社会福祉協議会	1	1
	心の底から信頼される福祉職員になるためには～仕事・自分・人と向き合う～	県社会福祉協議会	1	1
	安全運転管理者等講習	静岡県公安委員会	1	1
	福祉現場の理想のチームづくり～自ら考え行動するチームへ導く5つのポイント～	県社会福祉協議会	1	1
	介護施設・事業所における高齢者虐待の予防と対応	県社会福祉協議会	1	1
	急変を見逃さないための救急講座	県社会福祉協議会	1	1
	“ほんとうの自立支援”を促す介護技術講座	県社会福祉協議会	1	1
	心の安全地帯をつくる！風通しの良い福祉職場のつくり方	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者・障害者施設のための感染症講座(実践編)	県社会福祉協議会	1	1
	～仕事在必ずうまくいく!!～福祉分野におけるリーダーの7つの勘所	県社会福祉協議会	1	1
	ハラスメント防止×コミュニケーションでつくる快適職場	県社会福祉協議会	1	1
	新規職員研修	厚生事業協会本部	1	1
	介護職員初任者研修	三幸福祉カレッジ	1	1
看護師	中部地区公立養護老人ホーム看護職研修	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
栄養士 調理員	食中毒予防のための衛生講習会	市保健所	1	4
	中部地区公立養護老人ホーム栄養士・調理員研修	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
事務員	社会福祉法人・施設事務職員経理応用講座	県社会福祉協議会	1	1
	中部地区公立養護老人ホーム事務員研修会	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	1	1
全職員	指定管理者向け情報セキュリティ研修会		1	2 9
	e ラーニングサービス「サクラボ」を活用した研修	施設内	1	2 9
計			3 5	9 8

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	29人	婦人科検診・付加検診・対象者実施
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1 回	市医師会	20人	夜勤従事職員等
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	29人	全職員 （10月在職者）
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	毎月1回	（株）マルマ	26人	栄養士・調理員 相談員・支援員 看護師

6 施設利用人員

【定員：120人】

単位：（人）

	男	女	計
令和7年度当初	33	40	73
入 所 者	1	4	5
退 所 者	4	9	13
令和7年度末	30	35	65

※令和7年度当初には、4月1日入所者1名（女）は含まない。

7 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	全 員
家庭事情〔虐待〕	3	17（2）	20（2）
家庭事情〔虐待以外〕	17	14	31
高齢独居のため	10（1）	4（1）	14（2）
計	30（1）	35（3）	65（4）

※（ ）は令和7年度入所者（令和7年度内に退所した1名は計上せず）

※施設入所を拒否した件数：0件

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	男	女	人 数
特別養護老人ホーム・老人病院等へ転出	2	8	10
在 宅	0	0	0
死 去	2	1	3
計	4	9	13

9 利用者の年齢(令和8年3月31日)

60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
4人	21人	29人	11人	65人	82歳 3か月	102歳 2か月

10 利用者の在所年数(令和8年3月31日)

2年未満	2～4年	5～9年	10年以上	計	平均年数	最高年数
17人	23人	19人	6人	65人	4年 9か月	18年 10か月

11 利用者の状況(令和8年3月31日)

(1) 概 観

単位：（人）

健 康	病 弱 (※)	入院中	計
3	61	1	65

(※) 病弱は何らかの病気で受診中の人を含む

(2) 歩行状態

単位：（人）

区分	車椅子	歩行器	シルバーカー	杖	自立	入院	計
人数	8	5	14	4	33	1	65

(3) 介護保険認定者

単位：(人)

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
3	0	18	9	3	0	0	33

※【要支援・要介護区分】

要支援・要介護とは、日常生活の中でどの程度の介護（介助）を必要とするのか、介護の度合いをあらわす指標です。要介護の判定は、厚生労働省が基準を定める、「要介護認定基準時間（介護にかかる時間）」をベースに7段階に区分され、それに「自立」を合わせて合計8段階に分けられています。区分の種類としては、最も介護度が軽い「要支援1」から、最も重い「要介護5」まであります。

(4) 介護保険サービス利用状況

サービスの種類	利用人数／年	利用延回数
訪問介護サービス（ヘルパー）	27人	5,439回
通所介護サービス（デイサービス）	12人	714回

(5) 障害者手帳所持者

単位：(人)

身体障害者手帳	障害者手帳(精神)	療育手帳(知的)	計
5	4	3	12
1級(1) 2級(1) 3級(3) 4級(0) 5級(0) 6級(0)	1級(0) 2級(4) 3級(0)	A(0) B(3)	

※【療育手帳】

知能検査により算出された知能指数（IQ）を原則とし、社会生活能力、介護度等を考慮し、静岡県療育手帳判定要領に基づき、総合的に判断する。A（最重度、重度）、B（中度、軽度）

12 利用者の健康診断状況等

内 容	実施時期	備 考
健康診断 (聴診・血液検査・胸部レントゲン 検査・心電図・尿検査)	4 月、10 月	静岡済生会健康管理センター
インフルエンザワクチン接種	10 月	とやまクリニック (外山医師)
新型コロナウイルスワクチン接種	11 月	とやまクリニック (外山医師)
身長、体重、血圧	毎 月	看護師
検温	毎 日	看護師、支援員

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・ 全員集会 (利用者へ行事等の連絡、意見交換) ・ 健康管理 (身長・体重・検温・血圧測定) ・ 嘱託医往診 内 科：外山医師 毎週水曜日 精神科：鈴木医師 4 週ごと木曜日 ・ ラジオ体操、老人体操、ウォーキング ・ 喫茶 (おやつ、お茶の提供) ・ 誕生会 ・ クラブ活動 (カラオケ、陽だまりサロン) ・ 映画上映会 ・ レクリエーション大会 ・ しぞ〜かでん伝体操 ・ 娯楽 (新聞、雑誌、将棋) ・ 生活支援 (菓子、果物、日用品の販売、理美容)	・ 職員会議 ・ サービス検討会議 ・ 支援員会議 ・ 調理ミーティング ・ 食事研究委員会 ・ ケアプラン検討会議 ・ 防災管理委員会 ・ 感染対策委員会 ・ 施設安全管理委員会 ・ 身体拘束等廃止委員会 ・ 虐待防止委員会 ・ 苦情相談第三者委員会 ・ 虐待防止第三者委員会 ・ 救護所静老施設移行検討会 ・ 防災訓練、避難訓練 ・ 老人相談事業 ・ 葵 (定期)、駿河 (不定期) 福祉事務所情報交換会 ・ 慰問の受け入れ ・ 実習生の受け入れ

(2) クラブ活動、レクリエーション等(年間)

クラブ名	講 師	回数 (回)	参加人員 (人)	備 考
カラオケクラブ	支 援 員	1 2	1 6 3	
陽だまりサロン	支 援 員	3 6	2 5 9	
映画上映会	支 援 員	1 2	3 8 2	
しぞ〜かでん伝体操	支 援 員	4 8	1, 1 4 4	地域の参加は中止
レクリエーション大会	支 援 員	6	2 5 1	
計		1 1 4	2, 1 9 9	

(3) ボランティア受け入れ、慰問等

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
みんなの夏まつり	南藁科地区社会福祉協議会	(※1)	
花の日訪問	英和女学院	1	1 7
収穫感謝訪問	英和女学院	1	1 7
クリスマス訪問	雙葉学園子羊会	1	2 2
そば慰問 (※2)	東海軒	1	1 (代表取締役専務来所)
交流会	小鹿こども園	(※1)	
	藁科こども園	(※1)	
計		4	5 7

(※1) 新型コロナウイルス、インフルエンザ感染防止のため中止

(※2) 東海軒より「そば」と「天ぷら」の寄付がある

(4) 実習生の受け入れ

単位： (人)

学 校 名	期 間	内 容	人 員	延人数
静岡福祉大学	2月9日 ～ 2月24日	介護福祉実習	1	1 0

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想 定 時間帯	訓 練 内 容
4 月 1 7 日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練
2 4 日			水消火器訓練、防災監視盤
5 月 1 5 日		平日日中	安否コール送受信訓練
2 9 日	火災想定	休日午後	避難誘導訓練
	火災想定	平日夜間	非常連絡網による情報伝達訓練
6 月 2 6 日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練
7 月 1 7 日	水害想定	平日午前	水害を想定した災害対策本部の発足訓練及び2階へ垂直避難誘導訓練（静岡市救護所と合同実施）
8 月 1 9 日	火災想定	平日午後	避難誘導訓練
9 月 1 日	地震想定	平日午前	災害本部立ち上げ訓練（静岡市救護所と合同実施） 及び非常食炊き出し訓練
1 1 日	火災想定	平日午後	避難誘導訓練
1 0 月 1 6 日	地震・火災 想定	夜 間	避難誘導訓練
3 1 日	火災想定	平日午前	三施設合同防災訓練
1 1 月 1 3 日			三施設合同普通救命講習Ⅰ
2 0 日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練
1 2 月 1 6 日	火災想定	平日午後	避難誘導訓練
1 月 2 2 日	地震・火災 想定	夜 間	避難誘導訓練
2 月 1 9 日	地震想定	平日午前	法人全体のBCP総合訓練、災害対策本部立ち上げ訓練（静岡市救護所と合同実施）
2 4 日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練
3 月 1 0 日	火災想定	夜 間	避難誘導訓練

14 敬老週間の行事

実施日	行 事 名	内 容
9 月 9 日	敬老の日祝典	利用者を敬愛し長寿を祝う。 ・百歳のお祝い（１０２歳） 1 人 ・長寿祝（９０歳以上） 1 0 人 ・米寿祝 5 人 ・傘寿祝 3 人
9 月 1 6 日	無憂塔墓参	愛宕霊園内の協会墓地（無憂塔）と宗長寺（葵区沓谷）への参拝

15 季節的行事

月	行 事 内 容
4	8 日 さくらウォーク①（施設周辺の散策、ドライブ、おやつを購入） 2 2 日 さくらウォーク②（さくらウォーク①と同じ）
5	1 日 端午の節句（こいのぼり寿司） 1 3 日 さつきウォーク①（さくらウォーク①と同じ） 2 0 日 お楽しみ外出①（百円ショップへ買い物、おやつを購入）以下同じ 2 2 日 レクリエーション大会①（スポック）
6	3 日 お楽しみ外出② 1 0 日 買物市（衣類） 1 2 日 お寿司を楽しむ会 1 7 日 お楽しみ外出③
7	7 日 七夕 8 日 無憂塔墓参①（職員のみ参加） 8 日 お楽しみ外出④ 1 0 日 盆供養・物故者慰霊祭（職員のみ参加） 1 5 日 お楽しみ外出⑤ 1 7 日 レクリエーション大会②（スポック、講師来所）
8	7 日 みんなの夏まつり（地域住民と利用者と分けて２部制で実施） 1 2 日 お楽しみ外出⑥

9	2日 お楽しみ外出⑦ 9日 敬老式典 9日 レクリエーション大会③（スポック、牛乳パックジェンカ、クイズ） 16日 無憂塔墓参②（職員のみ参加） 18日 お楽しみ外出⑧
10	7日 寿司バイキング 14日 ドライブ外出①（ぶらっとパーク清水へドライブ、買い物、昼食出前） 21日 ドライブ外出②（KADODE 大井川へドライブ、買い物、昼食出前） 23日 DAIDOGEI Small Party 2025 28日 お楽しみ外出⑨ 30日 ドライブ外出③（ドライブ外出②と同じ）
11	4日 レクリエーション大会④（スポック、バトンリレー） 11日 買物市（衣類） 18日 お楽しみ外出⑩ 25日 お楽しみ外出⑪
12	16日 東海軒そば慰問（訪問は中止、そばの寄付を受ける） 23日 クリスマス会
1	1日 お正月（お飾りや鏡餅の飾り付け） 13日 レクリエーション大会⑤（スポック、ボールを使用したゲーム）
2	3日 節分豆まき 17日 スイーツフェア（いちごを使ったデザートを楽しむ）
3	3日 ひな祭り 10日 レクリエーション大会⑥（スポック、玉投げ） 17日 無憂塔墓参③（職員のみ参加）

16 利用者満足度調査結果（生活全般について）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
96%	84%	97%	96%	95%

17 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
みんなの夏まつり	8 月	老人ホーム敷地内	地域の皆さん、静岡市救護所・わらしな学園・静岡老人ホームの利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
DAIDOGEI Small Party 2025 (協力：大道芸ワールドカップ実行委員会)	10 月	老人ホーム敷地内	南藁科小学校児童（2、3 年生）、藁科こども園園児、小鹿こども園園児、静岡市救護所・わらしな学園・静岡老人ホームの利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
講演会「笑って学ぼう落語で終活」 (静岡市藁科生涯学習センター・静岡老人ホーム共同開催)	2 月	藁科生涯学習センター	地域の皆さん
南藁科地区公共施設連絡懇話会・産女駐在所連絡協議会	隔月 第 1 火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、産女駐在所長、南藁科小学校長、藁科こども園長、吉津園長、静岡市救護所長、わらしな学園長、静岡老人ホーム長
交通安全のぼり旗掲出作戦	春・夏・秋・年末の交通安全運動期間(※)	ふれあい橋前横断歩道	静岡市救護所、わらしな学園、静岡老人ホームの管理職参加

※4月9. 15 日、7月11. 18 日、9月22. 30 日、12月15. 19 日実施

(2) 老人福祉相談事業

単位： (件)

来 所	電 話	計
1	6	7

(3) 集会室利用提供事業（感染症対策のため、現在休止中）

利用場所	利 用 者	利用回数(回)	利用延人数(人)	内 容
集会室				

18 ショートステイ事業(年間)

(静岡市介護予防・生活支援型在宅高齢者短期保護事業)

年 度 別	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用人数 (人)	51	32	32	39	28
利用延日数(日)	3,897	2,918	2,267	3,194	1,749

19 静岡老人ホームの利用実績

【年間利用目標〔目標値〕：38,690人】

単位：(人×日＝延人数)

月	施設入所	ショートステイ	計
4	2,175	234	2,409
5	2,232	194	2,426
6	2,146	189	2,335
7	2,170	161	2,331
8	2,081	168	2,249
9	1,980	148	2,128
10	2,030	124	2,154
11	1,939	133	2,072
12	2,056	63	2,119
1	2,069	34	2,103
2	1,848	137	1,985
3	2,020	164	2,184
計〔実績〕	24,746	1,749	26,495
開所日数(日)	365	365	365
1日平均利用者数	67.8	4.8	72.6
達成率（〔実績〕÷〔目標値〕×100(%)）			68.5%

20 社会福祉充実計画実績

平成 30 年度に記録管理システム「CAREKARTE」を導入したことにより、利用者の状態、変化等の情報を各部署間でリアルタイムに共有することができ、利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスを速やかに提供することができるようになった。

また、利用者のケース記録のデジタル化により、各部署の日誌等へ活用することが可能となり、事務の省力化を図ることができた。

- ・記録管理システム「CAREKARTE」システムサポート委託業務
- ・記録管理システム「CAREKARTE」データセンターサービス利用業務

21 苦情相談解決結果

該 当 な し

22 その他

○生きがい対策事業の新しい取り組みとして、園芸クラブの立ち上げ準備を行った。

（令和 8 年度から本格活動予定）慰問のプレゼントでチューリップの球根と用具をいただき、12 月から栽培を始め、3 月後半に開花するまで利用者が楽しまれた。

ヘルパーステーション白寿

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

ア ケアプランに基づいた適切な訪問介護サービスを提供し、個々の能力に応じて自立した日常生活が営めるよう努めた。また、利用者の人権を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めた。

イ 利用者の状態等をケアマネージャーへ報告し、関係事業所等との連携に努めた。

(2) 新型コロナウイルス対応

ア 年間を通して、出勤前、帰宅後の検温実施・手洗い・消毒マスク着用を行うなど感染対策に努めた。また、職場外でも換気が悪く、人が密に集まる場所は避けるなどの対応を徹底した。

イ 施設利用者と在宅利用者を担当するヘルパーを分けて、感染防止に努めた。

2 職 員 数

(単位 人)

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長兼管理者	(1)		(1)	(1)		(1)
サービス提供責任者 兼主任訪問介護員		1	1		2 (1)	2 (1)
サービス提供責任者 兼副主任訪問介護員		1	1			0
登録ヘルパー		5	5		5	5
事 務 員		(1)	(1)		(1)	(1)
計	0 (1)	7 (1)	7 (2)	0 (1)	7 (2)	7 (3)

() は外数

3 施設整備

該 当 な し

4 職員の研修等〈年間〉

(人) (日)

職 部 門	研 修 内 容	主 催 者 等	参加 人員	出席 日数
サービス 提供責任者 (兼訪問介護員) 訪問介護員	認知症の人に寄り添うプロ の介護セミナー	県社会福祉人材センター	1	1
	高齢者虐待防止/ハラスメン ト対策	市介護保険課	1	1
	失語症の症状とコミュニケ ーションの工夫	市地域リハビリテーショ ン推進センター	1	1
	訪問介護職員向け感染対策 研修	内部研修	6	1
	人権擁護・虐待防止の基本	内部研修	6	1
	安全性の確保とリスクマネ ジメント	市介護保険課	1	1
	普通救命講習Ⅰ	市消防局	1	1
	サービス提供責任者研修	県介護福祉士会	1	2
	高齢化に伴う知的障がい者 の理解と対応研修	県介護福祉士会	1	1
	感染対策研修	県介護福祉士会	1	1
	利用者のプライバシー保護 に関する研修	内部研修	6	1
	接遇対応について	内部研修	6	1
	感染症 BCP 訓練	内部研修	6	1
	寝返り・起き上がり・立ち上 がりの介助	県社会福祉人材センター	1	1
	高齢者のポジショニング基 礎講座	市地域リハビリテーショ ン推進センター	1	1
	かがまずはける！靴下お助 け用具	市地域リハビリテーショ ン推進センター	1	1
	介護保険集団指導	市介護保険課	1	1
	障害福祉サービス集団指導	市障害者支援推進課	1	1
計			43	19

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
成人病検査（一般）	年 1 回	市医師会他	5 人	
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポート センター	5 人	全職員 (10 月在職者)

6 利用者へのサービス状況

(1) 介護保険サービス

ア 利用者数と訪問状況

月 区 分	4	5	6	7	8	9	
利用人数（人）	23	23	22	26	24	30	
訪問回数（回）	460	464	450	410	414	411	
訪問時間（時間）	328.75	325.5	315.25	302	305	312.75	
月 区 分	10	11	12	1	2	3	計
利用人数（人）	28	27	27	28	28	29	315
訪問回数（回）	424	439	474	467	461	451	5,325
訪問時間（時間）	318.75	318.25	347.25	329.5	327.5	322.5	3,853

イ サービス別利用状況表

(介護給付費単位) ※1単位×10.42円

月 区 分	4	5	6	7	8	9	
介護給付費 (要介護)	192, 951	192, 190	185, 880	175, 166	187, 119	182, 719	
総合事業費 (要支援)	6, 189	6, 189	6, 189	7, 755	4, 200	8, 131	
計	199, 140	198, 379	192, 069	182, 921	191, 319	190, 850	
月 区 分	10	11	12	1	2	3	合 計
介護給付費 (要介護)	183, 604	183, 557	193, 119	190, 522	188, 838	189, 635	2, 245, 300
総合事業費 (要支援)	8, 667	8, 667	10, 223	8, 520	8, 520	8, 442	91, 692
計	192, 271	192, 224	203, 342	199, 042	197, 358	198, 077	2, 336, 992

(2) 障害福祉サービス

ア 利用者数と訪問状況

月 区 分	4	5	6	7	8	9	
利用人数（人）	1	1	1	1	0	0	
訪問回数（回）	3	4	3	1	0	0	
訪問時間（時間）	1.5	2	1.5	1.5	0	0	
月 区 分	10	11	12	1	2	3	計
利用人数（人）	0	0	0	0	0	1	5
訪問回数（回）	0	0	0	0	0	3	14
訪問時間（時間）	0	0	0	0	0	2	8.5

イ サービス別利用状況表

(介護給付費単位) ※1単位×10.36円

月 区 分	4	5	6	7	8	9	
家事援助	318	424	318	106	0	0	
身体介護	0	0	0	0	0	0	
計	318	424	318	106	0	0	
月 区 分	10	11	12	1	2	3	合 計
家事援助	0	0	0	0	0	609	1,775
身体介護	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	609	1,775

7 年齢別介護度別利用者数（令和8年3月31日）

（1）介護保険サービス

単位：（人）

介護度 年 齢	非該当	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
65 歳～69 歳									
70 歳～74 歳				1	2				3
75 歳～79 歳			2	2	2		1		7
80 歳～84 歳			1	1	3	1			6
85 歳～89 歳				3	2			1	6
90 歳～94 歳			2	1	1				4
95 歳～99 歳				2		1			3
100 歳以上									
計			5	10	10	2	1	1	29

平均年齢 85.2 歳

（2）障害福祉サービス

単位：（人）

障害区分 年 齢	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
50 歳～54 歳							
55 歳～59 歳							
60 歳～64 歳		1					1
65 歳～69 歳							
計		1					1

平均年齢 64 歳

8 苦情相談解決結果

該 当 な し

静岡市救護所

1 主要事業報告

静岡市指定管理業務の更新

静岡市救護所及び静岡市静岡老人ホームについては、静岡市の指定管理者の選定の結果、当協会が、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間に指定管理者として指定される。

(1) 利用者サービスの向上（利用者サービスの向上）

利用者の個別支援計画意向に基づき、1人での外出が困難な利用者に対して外出（外食、買い物等）の実施、身寄りのない利用者の今後を考え、生活保護受給者でも利用できる（身元保証支援、生活支援、葬儀、納骨支援等）法人と契約、本人の意向によりシェアハウスに1名転所しました。

(2) 危機管理体制の強化（安全・安心の確保）

ア 防災対策の強化

（ア）水害や地震を想定した災害対策本部立ち上げ訓練を、静岡老人ホームと合同で開催し、連携の強化に努めた。

（イ）協会本部が主体となる、発災時の職員の被災状況を確認できる安否コールを活用した情報伝達訓練を救護所内でも実施した。

（ウ）わらしな三施設が協力した防災訓練、普通救命講習Ⅰを、それぞれ実施した。

イ 感染対策の継続

（ア）感染症発生を予防するため、利用者、職員による標準予防策（手指消毒、手洗い、うがいの励行、館内の換気、消毒等）の実施、感染対応物品の確認、補充、職員によるガウンテクニック、汚物処理の講習を行った。

(3) 地域との連携強化

静岡老人ホームが主体となって「みんなの夏まつり」「DAIDOGEI Small party2025」をわらしな三施設により主催し、地域（南藁科小学校区）の皆さんと一緒に行事を楽しんだ。

また、当救護所が主体となり、静岡老人ホーム、わらしな学園の、わらしな三施設で「交通安全のぼり旗掲出作戦」を、春、夏、秋、年末の交通安全運動時に行い、安全意識の啓発と通学する南藁科小学校児童等の見守りを行った。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和 7 年度当初			令和 8 年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所 長	1		1	1		1
次長兼指導課長	1		1	1		1
主幹介護職員	1		1		1	1
主任介護職員	1		1	1		1
副主任介護職員	1	1	2	1		1
介護職員	2	3	5	3	2	5
契約介護職員		2	2		2	2
看護師		1	1		1	1
主任栄養士		1	1		1	1
副主任調理員	1		1	1		1
調理員	1	1	2	1	1	2
契約調理員		3	3		3	3
事務員		1	1		1	1
嘱託医	2		2	2		2
計	1 1	1 3	2 4	1 1	1 2	2 3

3 施設整備

項 目	内 容
屋上防水工事（静岡市）	経年劣化により、修繕工事
ACP-24 系統空調機更新（静岡市）	空調機が故障したため、更新
ボイラ・貯湯タンク更新および、床暖房用ボイラ撤去（静岡市）	経年劣化により、入れ替え、及び撤去

4 職員研修（年間）

単位：（回）（人）

職部門	研修内容	主催者等	回数	参加 延人数
管理職	全国救護施設経営者・施設長会議	県救護更生施設連絡協議会	2	2
	県救護施設協議会第1回定例協議会	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	県救護施設協議会第2回定例協議会	県救護更生施設連絡協議会	1	1
	県救護施設協議会第3回定例協議会	県救護更生施設連絡協議会	1	1
次長兼 指導課長	メンタルヘルス講習会管理職向け	福利厚生センター	1	1
	県救護施設協議会指導員研修会	県救護施設協議会	1	1
	令和7年度情報セキュリティ研修	静岡市	1	1
介護職員	接遇・マナーコミュニケーション講座	県社会福祉協議会	1	1
	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース	県社会福祉協議会	3	3
	「言いにくいことを伝える技術」アサーティブ・コミュニケーションを学び合う	県救護施設協議会	1	1
	関東地区救護施設研究協議会（神奈川県）	関東救護更生施設連絡協議会	2	4
	身体拘束は廃止できます	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者障害者施設のための感染症講座（中級）	県社会福祉協議会	1	1
	県救護施設協議会指導員研修会	県救護施設協議会	2	2
	福祉現場の理想のチーム作り	県社会福祉協議会	1	1
	行動障害支援に役立つ「基本のコツ」講座	県社会福祉協議会	1	1
	介護施設・事業所における高齢者虐待の予防と対応	県社会福祉協議会	1	1
	全国救護施設研究協議大会（宮城県）	全国救護施設協議会	2	2
	急変を見逃さないための救急講座	県社会福祉協議会	1	1
	県救護施設協議会介護職員研修会	県救護施設協議会	2	2
	県救護施設協議会看護師研修会	県救護施設協議会	2	2
	危険物取扱者保安講習（一般）	静岡県危険物安全協会連合	1	1
	アンガーマネジメントを学ぶ講座	県社会福祉協議会	1	1
	精神疾患の理解	県社会福祉協議会	1	1
	県救護施設協議会個別支援計画研修会	県救護施設協議会	1	1
看護師	県救護施設協議会看護師研修会	県救護施設協議会	1	1

栄養士	県救護施設協議会栄養士研修会	県救護施設協議会	1	1
	健康づくり研修会	県給食協会	1	1
	2026 食研博	日本食研	1	1
事務員	社会福祉法人施設事務職員「経理応用講座」	県社会福祉協議会	3	3
	社会福祉法人施設事務職員「決算実務講座」	県社会福祉協議会	2	2
調理員	コーチング研修	県社会福祉協議会	1	1
	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座	県社会福祉協議会	1	1
	見学研修会	県給食協会	1	1
全職員	障害者虐待防止法の理解と対応	施設内	1	2 2
	障害者虐待防止委員会研修	施設内	1	2 0
	計		4 7	8 9

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	2 0 人	婦人科検診・付加検診・対象者実施
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1 回	市医師会	9 人	夜勤従事職員
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	2 0 人	全職員 (10 月在職者)
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O－1 5 7）	毎月 1 回	（株）マルマ	1 9 人 (4 月～7 月) 1 8 人 (8 月～9 月) 1 7 人 (10 月～11 月) (2 月～3 月) 1 6 人 (12 月～1 月)	介護職員・看護師 栄養士・調理員

6 施設利用人員

【定員：50人】

単位：（人）

	男	女	計
令和7年度当初	29	18	47
入所者	3	1	4
退所者	2	0	2
令和7年度末	30	19	49

7 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
扶養義務者が死亡等により単身生活困難	1	2	3
病弱（障害を含む）のため単身生活困難	6（1）	7（1）	13（2）
他施設（病院を含む）より転入	19（1）	10	29（1）
ホームレス	4（1）	0	4（1）
計	30（3）	19（1）	49（4）

※（ ）内は令和7年度入所者

※施設入所を拒否した件数：0件

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
他施設（病院を含む）	2	0	2
死 去	0	0	0
計	2	0	2

9 利用者の年齢（令和8年3月31日）

20～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80～ 89歳	90歳 ～	計	平均年齢	最高年齢
1人	3人	10人	15人	14人	5人	1人	49人	61歳 5か月	92歳 2か月

10 利用者の在所要年数（令和8年3月31日）

2年未満	2～4年	5～9年	10～ 19年	20年 以上	計	平均年数	最高年数
8人	5人	19人	6人	11人	49人	10年 11か月	42年 9か月

11 利用者の状況（令和8年3月31日）

（1）概 観

単位：（人）

健 康	病 弱（※）	入院中	計
4	4 4	1	4 9

（※）病弱は何らかの病気で受診中の人を含む

（2）歩行状態

単位：（人）

区分	車椅子	歩行器	シルバーカー	杖	自立	計
人数	3	1	4	5	3 6	4 9

（3）障害者手帳所有者

単位：（人）

身体障害者手帳	障害者手帳（精神）	療育手帳（知的）	計
6	1 5	1 1	3 2 （内重複所持者6）
1 級（1） 2 級（1） 3 級（2） 4 級（1） 5 級（0） 6 級（1）	1 級（3） 2 級（1 2） 3 級（0）	A（3） B（8）	身体＋療育（重複1） 身体＋精神（重複3） 精神＋療育（重複2）

※【療育手帳】

知能検査により算出された知能指数（IQ）を原則とし、社会生活能力、介護度等を考慮し、静岡県療育手帳判定要領に基づき、総合的に判断する。A（最重度、重度）、B（中度、軽度）

12 利用者の健康診断状況等

内 容	実施時期	備 考
健康診断（聴診・血液検査・胸部レントゲン検査・心電図・尿検査）	4 月、1 0 月	静岡済生会健康管理センター
眼科検診（精密眼底検査、細隙灯顕微鏡査）	1 月	静岡済生会健康管理センター
インフルエンザワクチン接種	1 0 月	とやまクリニック（外山医師）
新型コロナウイルスワクチン接種	1 1 月	とやまクリニック（外山医師）

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・作業（酒造会社等の紙の手提げ袋の袋貼り） ・クラブ活動 （生花、ヨガ、カラオケ、料理） ・誕生会（昼食時に誕生会メニューの提供及び祝金の贈呈） ・おやつ提供（毎週日曜日） ・全員集会（利用者との意見交換会（4月、7月、10月、1月）） ・ラジオ体操、老人体操、ウォーキング ・娯楽（新聞、雑誌、マンガ、CD、DVD） ・昼食外出 ・買い物外出 ・買い物市 ・広報誌「けやきだより」発行年1回 ・嘱託医往診 内 科:外山医師 第2、4水曜日 精神科:鈴木医師 4週ごと木曜日	・職員会議 ・主任者会議 ・介護職員会議 ・処遇会議 ・保健給食会議 ・防災委員会 ・施設安全管理委員会 ・感染対策委員会 ・身体拘束等廃止委員会 ・虐待防止委員会 ・静岡老人ホーム、静岡市救護所施設移行検討会 ・苦情相談第三者委員会 ・虐待防止第三者委員会 ・防災訓練、避難誘導訓練 ・慰問、ボランティアの受け入れ ・実習生の受け入れ

(2) クラブ活動（年間）

クラブ名	講 師	回 数 (回)	参加人員 (人)
生 花	杉 山 和 枝 (池坊静岡支部所属)	2 2	1 5 7 (地域の方 36)
ヨ ガ	佐 藤 由美子	2 4	2 7 5
カラオケ	介 護 職 員	1 0	8 1
料 理	栄養士・調理員	3	3 8
計		5 9	5 5 1 (地域の方 36)

(3) ボランティア受け入れ、慰問等 理容

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
理容ボランティア	P. T. P (people to people) 人と人 (市内美容師 3 人)	1 2	3 6
花の日訪問	静岡英和女学院	1	1 7
収穫感謝訪問	静岡英和女学院	1	1 7
クリスマス訪問	静岡雙葉学園小羊会	1	2 2
そば慰問 (※)	東海軒	1	1
計		1 6	9 3

(※) 東海軒より「そば」と「天ぷら」の寄付がある。

(4) 実習生の受け入れ

単位: (人)

学 校 名	期 間	内 容	人 員	延人数
計				

※社会福祉士実習指導者不在の為、令和 7 年度の受け入れはありませんでした。

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想 定 時間帯	訓 練 内 容
4 月 2 2 日	地震想定	平日午後	防災設備説明・防災物資の確認、説明
2 4 日	火災想定	平日午後	水消火器訓練
5 月 1 5 日	火災想定	平日午後	救護所内安否コールによる職員安否確認訓練
1 5 日	火災想定	夜間	職員連絡網による情報伝達訓練非常連絡網訓練
6 月 1 9 日	地震想定	平日午前	避難誘導訓練
7 月 1 7 日	水害想定	平日午前	水害を想定した災害対策本部立ち上げ訓練 (静岡老人ホームと合同)、2 階集会室への垂直避難誘導訓練
8 月 2 1 日	火災想定	平日午前	避難誘導訓練、初期消火訓練
9 月 1 日	地震想定	平日午前	地震を想定した災害本部立ち上げ訓練 (静岡老人ホームと合同) 避難誘導訓練・非常食炊き出し訓練・発電機・照明機材などの動作確認・操作方法の説明・備蓄品の確認

10月30日	地震・火災 想定	夜間	わらしな三施設が協力した防災訓練（避難誘導訓練、初期消火訓練、非常炊き出し訓練） 職員及び利用者の消火器取り扱い訓練
11月13日			わらしな三施設による合同普通救命講習Ⅰ
12月18日	火災想定	平日午前	防災設備取り扱い確認
1月16日	火災想定	夜間	避難誘導訓練、初期消火訓練
2月19日	地震想定	平日午前	BCP総合防災訓練 ・災害対策本部立ち上げ訓練（静岡老人ホームと合同） ・本部安否コールによる職員安否確認訓練
3月19日	地震想定	休日午前	避難誘導訓練

14 敬老週間の行事

実施日	行事名	内 容
9月9日	敬老の日祝典	利用者を敬愛し長寿を祝う ・傘寿祝 3人 ・長寿祝 3人

15 季節的行事

月	行 事 内 容
5	1日 端午の節句
6	12日 寿司バイキング 7日 英和女学院花の日訪問
7	6日 家族会 7日 七夕 10日 盆供養（職員のみ参加） 15日 静岡県救護施設親睦カラオケ大会 17日 かき氷&アイス
8	7日 みんなの夏祭り 21日 静岡県救護施設合同ボウリング大会（職員のみ参加）
9	9日 敬老式典
10	7日 寿司バイキング 23日 DAIDOGEI Small party2025

1 1	1 日 英和女学院収穫感謝訪問 1 3 日 屋台ラーメン 2 5 日 買い物市（あかのれん） 2 7 日 料理クラブ 干し芋づくり
1 2	1 1 日 雙葉学園クリスマス訪問 1 7 日 東海軒そば慰問 2 3 日 クリスマスランチ
1	6 日 初詣（館内）
2	3 日 節分行事（豆まき・食事） 2 4 日 屋台ラーメン
3	3 日 ひな祭り

16 地域交流活動

（１）地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
みんなの夏まつり	8 月	老人ホーム敷地内	地域の皆さん、静岡市救護所・わらしな学園・静岡老人ホームの利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
DAIDOGEI Small party 2025 （協力：大道芸ワールドカップ実行委員会）	10 月	老人ホーム敷地内	南藁科小学校児童（2、3年生）、藁科こども園園児、地域住民の皆さん、静岡市救護所・わらしな学園・静岡老人ホームの利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
南藁科地区公共施設 連絡懇話会・産女駐在所 連絡協議会	隔月 第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、産女駐在所長、南藁科小学校長、藁科こども園長、吉津園園長、静岡老人ホーム長、わらしな学園長、静岡市救護所長
交通安全 のぼり旗掲出作戦	春・夏・秋・年末 （※）	ふれあい橋前 横断歩道	静岡市救護所、わらしな学園、静岡老人ホームの管理職参加

（※）4月9・15日、7月11・18日、9月22・30日、12月15・19日に実施

(2) 集会室利用提供事業（感染症対策のため、現在休止中）

利用場所	利 用 者	利用回数（回）	利用延人数（人）	内 容
集会室	南藁科地区社会福祉推進協議会 南藁科学区自治会連合会	0	0	総会

17 緊急一時保護事業（年間）

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用人数（人）	5	9	7	6	8
利用延日数（日）	371	178	121	176	399

18 静岡市救護所の利用実績

【年間利用目標〔目標値〕：17,338人】

単位：（人×日＝延人数）

月	施設入所	緊急一時保護	計
4	1,424	13	1,437
5	1,488	34	1,522
6	1,452	39	1,491
7	1,488	39	1,527
8	1,512	31	1,543
9	1,470	7	1,477
10	1,519	39	1,558
11	1,470	51	1,521
12	1,499	41	1,540
1	1,497	46	1,543
2	1,372	28	1,400
3	1,519	31	1,550
計〔実績〕	17,710	399	18,109
開所日数（日）	365	365	365
1日平均利用者数	48.5	1.1	49.6
達成率（〔実績〕÷〔目標値〕×100（%））			104.4%

19 社会福祉充実計画実績

平成 30 年度に記録管理システム「CAREKARTE」を導入したことにより、利用者の状態、変化等の情報を各部署間でリアルタイムに共有することができ、利用者一人ひとりの状態に合わせたサービスを速やかに提供することができるようになった。

また、利用者のケース記録のデジタル化により、各部署の日誌等へ活用することが可能となり、事務の省力化を図ることができた。

- ・記録管理システム「CAREKARTE」システムサポート委託業務
- ・記録管理システム「CAREKARTE」データセンターサービス利用業務

20 苦情相談解決結果

該 当 な し

わらしな学園

1 主要事業報告

(1) 利用者サービスの向上（利用者サービスの向上）

障害特性の理解、支援・介護技術、感染症対応などの研修に参加、支援員の支援能力の向上に努めた。あわせて、専門性の高い強度行動障害支援者養成研修、サービス管理責任者更新研修および利用者の意向を尊重する権利擁護研修を受講、支援員の資質向上に努めた。

(2) 危機管理体制の強化（安全・安心の確保）

ア 防災対策の強化

発災後も事業が継続できる体制づくりのため、非常食炊き出し訓練、トイレ及び飲料水の対応訓練を実施した。訓練を踏まえ、防災備蓄品の見直しを行い、災害対策の強化に努めた。

イ 感染対策の継続

感染症発生を防止するため、手洗い、消毒、マスクの着用、換気等の感染予防策の徹底とあわせ、国や県・市の動向等の情報収集及び感染対応物品の管理・補充を行い、感染対策の強化に努めた。

(3) 地域との連携強化（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

静岡老人ホーム、静岡市救護所のわらしな三施設で「みんなの夏まつり」「DAIDOGEI Small Party2025」を開催し、地域（南藁科小学校区）の皆さんと一緒に行事を楽しんだ。

また、三施設で「交通安全のぼり旗掲出作戦」を、春・夏・秋・冬の交通安全運動時に行い、安全意識の啓発と通学する南藁科小学校児童等の見守りを行った。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和 7 年度当初			令和 8 年度当初		
	男	女	計	男	女	計
学園長	1		1	1		1
指導課長※学園長兼任	(1)		(1)	(1)		(1)
次長兼育成課長	1		1	1		1
サービス管理責任者	2		2	2		2
主任生活支援員 ※わらしなホームサービス 管理責任者兼務		(1)	(1)		(1)	(1)
副主任生活支援員	3	2	5	4	2	6
生活支援員	9	10	19	9	11	20
契約生活支援員		2	2		1	1
契約パート生活支援員	2	4	6	2	3	5
派遣生活支援員	1		1	2		2
看護師		1	1		1	1
主任栄養士		1	1		1	1
副主任事務員		1	1		1	1
事務員			0	1		1
契約パート事務員	1		1			0
嘱託医師	2		2	2		2
計	22 (1)	21 (1)	43 (2)	24 (1)	20 (1)	44 (2)

（ ）は外数

3 施設整備

項 目	内 容
8人乗り公用車購入	経年劣化した公用車の更新
ガス回転釜更新	経年劣化したガス回転釜の更新
沈殿槽、曝気槽チェッカープレート枠交換修繕	劣化したチェッカープレート枠の交換修繕
ガス炊飯器更新	経年劣化したガス炊飯器の更新

4 職員研修（年間）

単位：（回）（人）

職部門	研 修 内 容	主催者等	回数	参加 延人数
管理職	東海地区知的障害関係施設長等研究協議会	日本知的障害者福祉協会東海地区会	2	2
生活 支援員	第13回障害者支援施設部会全国大会東海地区愛知大会	日本知的障害者福祉協会	2	2
	サービス管理責任者等更新研修	静岡県	2	4
	強度行動障害支援者養成研修基礎研修	静岡県	4	4
	強度行動障害支援者養成研修実践研修	静岡県	4	4
	障害者虐待防止・権利擁護研修	静岡県	2	2
	静岡県知的障害者福祉協会障害者支援施設職員研究集会	県知的障害者福祉協会	2	2
	障害のとらえ方講座	県知的障害者福祉協会	1	1
	心理学療法講座	県知的障害者福祉協会	2	2
	中堅職員研修会	県知的障害者福祉協会	1	1
	障がい特性を理解する講座	県知的障害者福祉協会	2	2
	対人支援における基本スキル実践講座	県知的障害者福祉協会	2	2
	福祉職員基礎セミナー	県社会福祉協議会	2	2
	福祉職員キャリアパス対応中堅職員研修	県社会福祉協議会	3	3
	「ぶれない福祉のリーダーになる！！」	県社会福祉協議会	1	1
	コーチング研修	県社会福祉協議会	1	1
	イマドキ世代の育て方研修	県社会福祉協議会	1	1
	心の底から信頼される福祉職員になるために	県社会福祉協議会	1	1
	やる気を引き出す！モチベーションマネジメント講座	県社会福祉協議会	1	1
	福祉現場の理想のチームづくり	県社会福祉協議会	1	1
	福祉分野におけるリーダーの7つの勘所	県社会福祉協議会	1	1
	利用者家族と信頼関係を築くポイント講座	県社会福祉協議会	1	1
	主任・管理職のためのメンタルヘルス講座	県社会福祉協議会	1	1
	福祉サービス苦情解決研修会	県社会福祉協議会	1	1
	アンガーマネジメントを学ぶ講座	県社会福祉協議会	1	1
	行動障害支援に役立つ「基本のコツ」講座	県社会福祉協議会	1	1
	共感を得る「ことば」講座	県社会福祉協議会	1	1
	介護記録の書き方講座	県社会福祉協議会	1	1
	心の安全地帯をつくる！風通しの良い福祉職場のつくり方	県社会福祉協議会	1	1
	高齢者・障害者施設のための感染症講座 中級編	県社会福祉協議会	1	1

	高齢者・障害者施設のための感染症講座 初級編	県社会福祉協議会	1	1
	急変を見逃さないための救急講座	県社会福祉協議会	1	1
	危険箇所点検から始める施設のリスク管理研修	県社会福祉協議会	1	1
	災害時のリスクマネジメント講座	県社会福祉協議会	1	1
	静岡県磐田学園強度行動障害研修会	静岡県立磐田学園	1	1
	知的障がいのある人が抱える感覚について	静岡市地域リハビリテーション推進センター	1	1
	意思決定支援勉強会	社会福祉法人百花園	1	3
	安全運転管理者講習	県安全運転管理協会	1	1
	新規採用職員研修	協会本部	1	1
栄養士	栄養部会研究集会	県知的障害者福祉協会	1	1
	栄養講習会	静岡市保健所	1	1
	食中毒予防のための衛生講習会	静岡市保健所	1	1
事務員	社会福祉法人経理応用講座	県社会福祉協議会	2	2
全職員	虐待防止研修	施設内	4	1 5 5
	計		6 5	2 2 0

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	4 0 人	婦人科検診、付加検診・対象者実施
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1 回	市医師会	2 7 人	夜勤従事職員等
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	4 0 人	全職員 （10 月在職者）
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	毎月 1 回	（株）マルマ	1 人	栄養士
	年 2 回		3 9 人	職 員

6 施設利用人員

【定員：80人】

単位：（人）

	男	女	計
令和7年度当初	41	35	76
入所者	2	0	2
退所者	1	1	2
令和7年度末	42	34	76

7 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
家庭事情	42（2）	34	76（2）
計	42（2）	34	76（2）

※（ ）は令和7年度入所者

8 施設退所理由

理 由	男	女	計
有料老人ホームへ移行	0	1	1
死 去	1	0	1
計	1	1	2

9 利用者の年齢（令和8年3月31日）

10歳代	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	平均年齢	最高年齢
0人	0人	5人	10人	36人	15人	10人	76人	56歳7か月	78歳9か月

10 利用者の在所要年数（令和8年3月31日）

2年未満	2～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	平均年数	最高年数
3人	4人	5人	7人	8人	49人	76人	25年10か月	45年

11 利用者の状況（令和8年3月31日）

（1）障害支援区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0人	0人	1人	9人	25人	41人	76人

※【障害支援区分】

障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。必要とされる支援の度合いが、区分1から区分6にかけて高くなる。

（2）障害者手帳所持者

単位：（人）

身体障害者手帳	障害者手帳(精神)	療育手帳(知的)	計
12	0	76	76 (内重複所持者12)
1級(2) 2級(5) 3級(0) 4級(3) 5級(1) 6級(1)		A(60) B(16)	

※【療育手帳】

知能検査により算出された知能指数(IQ)を原則とし、社会生活能力、介護度等を考慮し、静岡県療育手帳判定要領に基づき、総合的に判断する。A（最重度、重度）、B（中度、軽度）

12 利用者の健康診断状況等

内 容	実施時期	備 考
検便	5月、11月	(株) マルマ
健康診断 (血液検査・尿検査・胸部レントゲン検査)		静岡済生会健康管理センター
インフルエンザワクチン接種	10月	とやまクリニック（外山医師）
新型コロナウイルスワクチン接種	11月	とやまクリニック（外山医師）
体重、血圧	毎月	生活支援員（看護師） (身長は半年に1回測定)

13 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・ 日常生活支援 (食事・入浴・着脱・排泄・移動・洗濯・整容等の介助) ・ 生産活動 (プラスチック製品などの受注作業、空き缶リサイクル等) ・ 個別支援 (外出・外食・買い物等) ・ 文化芸術活動 (音楽講座・読み聞かせ・美術等) ・ 社会参加 (適宜) ・ 誕生会 (毎月第3月曜日) ・ ジュース購入 (施設内自販機でジュース購入) ・ 季節行事 (七夕・クリスマス・節分・ひな祭り等) ・ 希望帰省 (5月、8月、10月、12月) ・ 嘱託医往診 内 科：外山医師 第1、3水曜日 精神科：鈴木医師 4週ごと木曜日 ・ 通院介助 (適宜) ・ 生活用品管理 (適宜)	・ 運営会議 ・ 職員会議 ・ 支援員会議 ・ 給食会議 ・ 衛生委員会 ・ 虐待防止、身体拘束廃止作業部会 ・ 施設安全管理委員会 ・ 感染対策委員会 ・ 入退所調整委員会 ・ 苦情相談第三者委員会 ・ 虐待防止第三者委員会 ・ 防災訓練、避難誘導訓練 ・ 慰問、ボランティアの受け入れ ・ 実習生の受け入れ

(2) クラブ活動 (年間)

クラブ名	講 師	回数 (回)	参加人員 (人)
音楽講座	粉 正子	10	480
絵本の会	牧野富美子	5	229
計		15	709

(3) ボランティア受け入れ、慰問等

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
年越しそば提供	静岡市蕎麦商組合	1	6
クリスマス訪問	雙葉学園子羊会	1	42
計		2	48

(4) 実習生の受け入れ

単位： (人)

学 校 名	期 間	内 容	人 員	延人数
静岡女子高等学校	7 月 9 日～7 月 1 5 日	介護実習	2	1 0
常葉大学	8 月 1 8 日～8 月 2 9 日	保育実習	1	1 0
静岡県立大学短期大学部	9 月 8 日～9 月 2 0 日	保育実習	2	2 4
計			5	4 4

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓 練 内 容
4 月 1 8 日	地震想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練
5 月 1 5 日 1 9 日	地震想定	平日午前 夜 間	協会全体の安否コール訓練 避難誘導訓練、情報伝達訓練
6 月 2 0 日	火災想定	平日早朝	避難誘導、情報伝達訓練
7 月 1 8 日	水害想定	平日午前	2 階避難経路を使った避難誘導訓練
8 月 1 5 日	火災想定	夜間	初期消火、避難誘導訓練、情報伝達訓練
9 月 1 日	南海トラフ 地震想定	平日午前	安否コール訓練、炊き出し訓練、避難誘導、情報伝達訓練
1 0 月 1 7 日	火災想定	平日午前	初期消火、避難誘導訓練、情報伝達訓練
1 1 月 2 日 1 3 日	火災想定	平日午前 平日午後	避難誘導、情報伝達訓練 3 施設合同普通救命講習 I
1 2 月 1 9 日	火災想定	休日午前	初期消火、避難誘導訓練、情報伝達訓練
1 月 1 6 日	地震想定	平日早朝	避難誘導訓練、職員連絡網情報伝達訓練
2 月 1 9 日	地震想定	平日午前	法人全体の BCP 総合訓練、安否コール訓練
3 月 1 9 日	地震想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練、非常用電源の確認

14 季節的行事

月	行 事 内 容
4	1 日 新任式
5	3 日 事業説明会 希望帰省
6	1 7 日 食楽活動
7	7 日 七夕 2 2 日 スポーツ大会
8	7 日 みんなの夏まつり 9 日 希望帰省
9	9 日 お楽しみ食事会 花火大会
1 0	1 1 日 希望帰省 2 3 日 DAIDOGEI Small Party2025 3 1 日 ハロウィン
1 1	1 8 日 食楽活動
1 2	4 日 静岡市蕎麦商組合慰問 1 1 日 雙葉学園子羊会訪問 2 4 日 クリスマス会 2 7 日 希望帰省
1	1 3 日 新年会
2	3 日 節分 1 0 日 魚国お楽しみ食事会
3	3 日 ひな祭り 2 7 日 希望帰省 3 1 日 離任式

15 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
みんなの夏まつり	8 月	老人ホーム敷地内	地域の皆さん、静岡老人ホーム・静岡市救護所・わらしな学園の利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
DAIDOGEI Small Party 2025 (協力：大道芸ワールドカップ実行委員会)	10 月	老人ホーム敷地内	南藁科小学校児童（2、3年生）、藁科こども園園児、地域住民の皆さん、静岡老人ホーム・静岡市救護所・わらしな学園の利用者の皆さん、わらしな学園利用者のご家族
南藁科地区公共施設連絡懇話会 産女駐在所連絡協議会	隔月第1火曜日	各施設持ち回り	南藁科学区自治会連合会会長、産女駐在所長、南藁科小学校長、藁科こども園長、吉津園理事長、静岡老人ホーム長、静岡市救護所長、わらしな学園長
交通安全のぼり旗掲出作戦	春、夏、秋、年末の交通安全運動期間（※）	ふれあい橋前横断歩道	静岡老人ホーム、静岡市救護所、わらしな学園の管理職参加

（※）4月9、15日、7月11、18日、9月22、30日、12月15、19日実施

(2) 備品貸し出し事業

該 当 な し

16 わらしな学園の利用実績

【年間利用目標〔目標値〕：28,470 人（施設入所支援）】

単位：（人×日＝延人数）

月	施設入所支援	生活介護	短期入所	日中一時
4	2, 2 5 5	1, 5 7 7	4 6	1 4
5	2, 2 9 2	1, 5 0 3	4 6	1 2
6	2, 2 5 6	1, 5 8 0	7 1	4
7	2, 3 5 6	1, 6 7 2	7 9	1 2
8	2, 3 0 3	1, 5 0 4	7 8	1 4
9	2, 2 7 2	1, 5 1 5	7 5	1 3
1 0	2, 2 8 1	1, 6 3 5	1 0 0	1 0
1 1	2, 2 4 3	1, 3 4 6	8 6	1 6
1 2	2, 2 7 3	1, 6 8 3	7 4	1 3
1	2, 3 2 8	1, 5 1 4	3 5	1 1
2	2, 1 2 4	1, 3 6 4	5 1	9
3	2, 2 8 8	1, 5 6 2	5 3	7
計〔実績〕	2 7, 2 7 1	1 8, 4 5 5	7 9 4	1 3 5
開所日数（日）	3 6 5	2 4 6	3 6 5	3 6 5
1 日平均利用者数	7 4. 7	7 5. 0	2. 2	0. 4
達成率（施設入所支援〔実績〕÷〔目標値〕×100（%））				9 5. 8 %

17 苦情相談解決結果

該 当 な し

わらしなホーム

1 主要事業報告

(1) 就労の継続（利用者サービスの向上）

就労が継続できるよう、日常生活についての助言・援助及び就労先との連携に努めた。

(2) 生活の充実（利用者サービスの向上）

月2回の買い物外出とあわせ、みんなの夏まつり、クリスマス、節分、ひな祭りなどの季節行事及び誕生会を実施、生活を充実させる支援に努めた。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
ホーム長 ※学園次長兼務	(1)		(1)	(1)		(1)
サービス管理責任者		1	1		1	1
契約世話人	1		1	1		1
世話人 ※学園生活支援員 兼務		(1)	(1)		(1)	(1)
計	1 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (2)

（ ）は外数

3 施設整備

項 目	内 容
浴室扉修繕	経年劣化により破損した浴室扉の修繕

4 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	2 人	
夜勤者等健診（腰痛検診含む）	年 1 回	市医師会	1 人	夜勤従事職員等
ストレスチェック	年 1 回 (10 月)	聖隷健康サポ- トセンター	2 人	
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	年 2 回	（株）マルマ	2 人	

5 施設利用人員

【定員：7 人】

単位：（人）

	男	女	計
令和 7 年度当初	0	2	2
入 所 者	0	0	0
退 所 者	0	0	0
令和 7 年度末	0	2	2

6 施設入所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
家庭事情	0	2	2
計	0	2	2

7 施設退所理由

該 当 な し

8 利用者の年齢（令和 8 年 3 月 31 日）

3 0 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 歳 以上	計	平均年齢	最高年齢
0 人	0 人	1 人	1 人	2 人	5 7 歳 3 か月	6 1 歳 2 か月

9 利用者の在所要年数（令和8年3月31日）

10年未満	10年以上	計	平均年数	最高年数
0人	2人	2人	32年 3か月	36年

10 利用者の健康診断状況

単位：（人）

内 容	回 数	人 数
勤め先での定期健康診断	年1回	2

11 就労先等（令和8年3月31日）

単位：（人）

電気部品製造会社	福祉施設ヘルパー
1	1

12 利用者へのサービス状況

定期的活動

利用者サービス	概 要
・ 食事提供 ・ 金銭管理 ・ 相談指導 ・ 行政等手続き代行 ・ 介護保険サービス利用援助 ・ 営繕作業 ・ 通院介助 ・ 誕生日会 ・ 災害防災対策	朝・夕食提供 預かり金管理契約に基づく 随 時 随 時 随 時 随 時 随 時 誕生月 防災非常食備蓄、学園夜間訓練に連携実施

13 季節的行事及び地域交流活動

月	行 事 内 容
5	ゴールデンウィーク帰省
8	みんなの夏まつり お盆帰省
1 2	クリスマス会
1	正月帰省
2	節分
3	ひな祭り

14 わらしなホームの利用実績

単位：（人×日＝延人数）

月	人×日	月	人×日
4	5 6	1 0	6 1
5	5 7	1 1	6 0
6	6 0	1 2	5 7
7	6 2	1	5 9
8	5 4	2	5 6
9	5 9	3	6 2
		計	7 0 3
		開所日数	3 6 5 日
		1 日平均 利用者数	1 . 9

15 苦情相談解決結果

該 当 な し

わらしなロジ

1 主要事業報告

(1) 利用者サービスの向上（利用者サービスの向上）

利用者一人ひとりの障害特性に合わせた支援を実施、利用者サービスの向上に努めた。

感染対策に留意し日帰り外出、野外活動、社会参加活動を実施、支援サービスの充実に努めた。

愛護ギャラリー（県内知的障害者施設利用者の作品展）に干支の壁画の出展を継続して実施した。

(2) 危機管理体制の強化（安全・安心の確保）

ア 防災対策の強化

発災後も事業が継続できる体制づくりのため、非常食炊き出し訓練、トイレ及び飲料水の対応訓練を実施した。訓練を踏まえ、防災備蓄品の見直しを行い、災害対策の強化に努めた。

イ 感染対策の継続

感染症発生を防止するため、手洗い、消毒、マスクの着用、換気等の感染予防策の徹底とあわせ、国や県・市の動向等の情報収集及び感染対応物品の管理・補充を行い、感染対策の強化に努めた。

(3) 地域との連携強化（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

エコキャップ運動及び河川環境アドプトプログラム活動に積極的に参加、地域貢献に努めた。

静岡老人ホーム、静岡市救護所のわらしな三施設で「みんなの夏まつり」「DAIDOGEI Small Party2025」を開催し、地域（南藁科小学校区）の皆さんと一緒に行事を楽しんだ。

また、三施設で「交通安全のぼり旗掲出作戦」を、春・夏・秋・冬の交通安全運動時に行い、安全意識の啓発と通学する南藁科小学校児童等の見守りを行った。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所 長（学園長兼務）	（1）		（1）	（1）		（1）
サービス管理責任者	1		1		1	1
主幹生活支援員			0	1		1
主任生活支援員	1	1	2			0
主任生活支援員 （相談兼務）			0	（1）		（1）
生活支援員	2	1	3	1	1	2
契約パート生活支援員	1	2	3	1	2	3
看護師（学園看護師兼務）		（1）	（1）		（1）	（1）
運転手	3		3	3		3
嘱託医師	1		1	1		1
計	9 （1）	4 （1）	13 （2）	7 （2）	4 （1）	11 （3）

（ ）は外数

3 施設整備

該 当 な し

4 職員研修（年間）

わらしな学園参照

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年1回	市医師会	10人	婦人科検診、 付加検診対象者実施
ストレスチェック	年1回	聖隷健康サポート センター	10人	10月在職者
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	年2回	（株）マルマ	10人	全職員

6 施設利用人員

【定員：20人】

単位：（人）

	男	女	計
令和7年度当初	13	6	19
入所者	0	1	1
退所者	2	0	2
令和7年度末	11	7	18

7 施設利用理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
家庭事情	11	7（1）	18（1）
計	11	7（1）	18（1）

※（ ）は令和7年度新規利用者

8 施設退所理由

単位：（人）

理 由	男	女	計
わらしな学園入所	2	0	2
計	2	0	2

9 利用者の年齢（令和8年3月31日）

10歳代	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	平均年齢	最高年齢
0人	3人	4人	7人	4人	0人	0人	18人	41歳 11か月	57歳 3か月

10 利用者の在所要年数（令和8年3月31日）

2年未満	2～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計	平均年数	最高年数
2人	2人	2人	4人	1人	7人	18人	15年 5か月	30年

11 利用者の状況（令和8年3月31日）

（1）障害支援区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0人	0人	0人	2人	9人	7人	18人

※【障害支援区分】

障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。必要とされる支援の度合いが、区分1から区分6にかけて高くなる。

12 利用者の健康診断状況等

実施時期	実施時期	備 考
胸部レントゲン	11月	静岡済生会健康管理センター
検便	3月	(株) マルマ
毎月	体重、血圧	生活支援員（看護師） （身長は半年に1回計測）

13 利用者へのサービス状況

（1）定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
生活支援活動 （身辺介護・食事介助・整髪） 個別支援活動 （マイスタディー・身体活動・作業・園芸 作業・感覚活動・季節行事） 社会参加支援活動 （公共施設利用、食事、買い物、エコキャップ 運動、河川環境アドプトプログラム活動） 保護者参加型活動 （収穫祭、参加週間）	・運営会議 ・職員会議 ・支援員会議 ・衛生委員会 ・虐待防止、身体拘束廃止作業部会 ・施設安全管理委員会 ・感染対策委員会（適宜） ・入退所調整委員会（適宜） ・防災訓練、避難誘導訓練 ・慰問、ボランティアの受け入れ ・実習生の受け入れ

(2) ボランティア受け入れ、体験学習、慰問等

わらしな学園参照

(3) 実習生の受け入れ

わらしな学園参照

(4) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月18日	地震想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練
5月15日	地震想定	平日午前	法人全体の安否コール訓練
16日		平日午前	送迎中の地震想定訓練
6月20日	地震想定	平日午後	送迎中の地震想定訓練
7月18日	水害想定	平日午前	2階避難経路を使った避難誘導訓練
8月15日	火災想定	平日午前	初期消火、避難誘導訓練
9月1日	南海トラフ 地震想定	平日午前	災害用伝言ダイヤル訓練
10月17日	火災想定	平日午前	初期消火、避難誘導訓練
11月13日	火災想定	平日午後	3施設合同普通救命講習Ⅰ
21日		平日午前	初期消火、避難誘導訓練
12月19日	火災想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練
1月16日	地震想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練
2月19日	地震想定	平日午前	法人全体のBCP総合訓練、安否コール訓練
20日	火災想定	平日午前	初期消火、避難誘導訓練
3月19日	地震想定	平日午前	避難誘導、情報伝達訓練、非常用電源の確認

14 季節的行事

月	行 事 内 容
4	1 日 新任式 2 5 日 野外活動：蓮華寺池公園 2 8 日 保護者説明会
5	2 7 日 家族参観会（2 8 日、2 9 日） 収穫祭
6	1 9 日 日帰り外出：富士川楽座
7	4 日 清水七夕見学 7 日 プール開き 2 2 日 スポーツ大会
8	7 日 みんなの夏まつり 2 1 日 ボウリング大会
9	9 日 社会参加活動：新東名静岡 SA 2 6 日 プール納め
1 0	1 0 日 日帰り外出：柿田川公園 2 3 日 DAIDOGEI Small Party2025 2 7 日 アドプトプログラム活動 3 1 日 ハロウィン
1 1	1 3 日 社会参加活動：静岡県立美術館（金曜ロードショーとジブリ展）
1 2	4 日 静岡市蕎麦商組合慰問 1 0 日 収穫祭 1 1 日 雙葉学園子羊会訪問 1 9 日 愛護ギャラリー展見学外出 2 4 日 クリスマス会
1	7 日 書初め大会 2 0 日 初詣
2	3 日 節分 1 9 日 野外活動：美和桜見学
3	3 日 ひな祭り 1 2 日 社会参加活動：新東名静岡 SA 1 9 日 アドプトプログラム活動 2 4 日 表彰式 3 1 日 離任式

15 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

わらしな学園参照

(2) 備品貸し出し事業

な し

16 わらしなロッジの利用実績

【年間利用目標〔目標値〕：4,356 人】

単位：(人×日＝延人数)

月	人×日	月	人×日
4	3 1 2	1 0	3 4 4
5	2 8 1	1 1	2 9 7
6	3 2 9	1 2	3 3 4
7	3 4 7	1	2 7 0
8	3 1 0	2	2 5 8
9	2 9 9	3	3 0 1
		計	3, 6 8 2
		開所日数	2 4 2 日
		1 日平均利用者数	1 5. 2
		達成率 (実績÷目標値×100 (%))	8 4. 5 %

17 苦情相談解決結果

該 当 な し

相談支援センターわらしな

1 主要事業報告

(1) 研修の充実（利用者サービスの向上）

専門性の高い相談支援従事者現任研修を受講、職員の資質向上に努めた。

関係機関と連携を図りながら、個別ケースの検討を行い、課題解決に努めた。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所長	(1)		(1)	(1)		(1)
※学園次長兼務						
主任相談支援専門員			0	1		1
主任相談支援専門員	(1)		(1)			0
※ロッジ主任生活支援員兼務						
副主任相談支援専門員	1		1	1		1
計	1 (2)		1 (2)	2 (1)		2 (1)

() は外数

3 施設整備

該当なし

4 職員研修（年間）

単位：（回）（人）

職部門	研 修 内 容	主催者等	回数	参加 延人数
相談支援 専門員	相談支援従事者現任研修	静岡県	4	4
	静岡県就業促進協議会	静岡県	1	1
	計		5	5

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施期間	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会	2 人	
ストレスチェック	年 1 回 (10 月)	聖隷健康サポート センター	2 人	
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・ O-157）	年 2 回	（株）マルマ	2 人	

6 計画相談件数（年間）

（1）特定相談支援

ア 特定相談支援利用契約者数（令和 8 年 3 月 31 日）

169 人

イ 計画、モニタリング実績

単位：（件）

月 計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規・更新 (案) (※1)	19	8	2	10	3	10	18	10	16	9	7	10	122
継 続	35	35	32	26	27	29	35	26	23	30	25	29	352
計画（本） (※2)	10	19	8	2	10	3	10	18	10	16	9	7	122
合 計	64	62	42	38	40	42	63	54	49	55	41	46	596

（※1）（案）は、新規での福祉サービス利用や既に利用している福祉サービスの有効期限の更新、福祉サービスの追加または変更申請を記した行政審査会へ提出する書類件数。

（※2）（本）は、案件の提出後、行政による福祉サービスの支給決定が確定した書類件数。

(2) 障害児相談支援

ア 障害児相談支援利用契約者数（令和8年3月31日）

44人

イ 計画、モニタリング実績

単位：（件）

月 計画	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規・更新 (案) (※1)	5	4	4	4	4	6	6	5	8	5	2	5	58
継 続	5	3	6	4	3	8	4	2	4	3	4	7	53
計画(本) (※2)	6	5	4	4	4	4	6	6	5	8	5	2	59
合 計	16	12	14	12	11	18	16	13	17	16	11	14	170

(※1) (案) は、新規での福祉サービス利用や既に利用している福祉サービスの有効期限の更新、福祉サービスの追加または変更申請を記した行政審査会へ提出する書類件数。

(※2) (本) は、案件の提出後、行政による福祉サービスの支給決定が確定した書類件数。

小鹿こども園

1 主要事業報告

(1) 教育保育内容の充実（利用者サービスの向上）

「夢中になってあそぶ」という重点目標をもとに、園庭の環境について公開保育や、園内研修を通して職員同士が学び合うことを大切にしました。

公開保育の事前研修では、子どもの現状の育ちを共有し、伸ばしたい資質や具体的な手立てについて担任の思いを確認した。事後研修では、その日の保育内容や環境構成がねらいに合っていたか、保育者の援助は適切だったか等、参加者全員で話し合い、結果を今後の保育に活かせるようにした。昨年度の「見学時間が短く、保育の意図が捉えきれない」という反省に基づき、今年度は十分な観察時間を設定した。その結果、見学者がクラスの活動を一貫して見ることができ、子どもの姿をより深く、多面的に把握することができた。

(2) 職員の資質向上（利用者サービスの向上）

職員育成については、年度初めに経験年数に応じたキャリアパスを提示し、自身に求められている資質を確認した。それに沿い園内外研修を受講し、職員の資質向上に努めた。

昨年度に引き続き、若手職員が強みを生かせるよう、保育の実践研修を行い、楽器、太鼓指導、プールの壁面制作等の機会を設けた。

(3) 危機管理体制の強化

ア 防災対策の強化（安全・安心の確保）

災害発生時に職員が迅速かつ適切な対応ができるよう、緊張感をもって訓練を実施した。また、減災に関する研修を受講した職員から、これまでの取り組みでは園児が自ら命を守ることを意識できる指導になっていなかったという報告を受け、今後は「子ども自身が身を守ることを意識できる指導内容になっているか」「園内の危険な場所の再確認」「震度に応じた避難方法の変更」といった点について、今後さらに見直しを進めていく。

イ 感染対策の継続

様々な感染症予防のため、園内の清掃、玩具の消毒、検温等、現行の感染症対策を継続した。罹患者や体調不良の園児が増加した際には、保護者へ速やかに情報を共有し、家庭での予防を呼び掛けた。

看護師による、うがい手洗いの大切さを伝える講話も継続し、子どもが習慣として身につけ、その大切さを実感できるよう努めている。

ウ 地域との連携強化

地域の子育て支援の一環として、未就園児とその保護者を対象とした「園庭開放」及び「おしゃべりサロン」を計画通り実施した。園庭開放では、天候等に配慮しながら、園児と触れ合える内容を企画、実施をした。「おしゃべりサロン」では豊田児童館、ゆりかご保育園と連携、協力して開催し、地域との関係強化に努めた。

2 職員数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
園 長		1	1		1	1
副園長		1	1		1	1
主任保育教諭		1	1		1	1
副主任保育教諭		2	2		1	1
保育教諭		1 2	1 2		1 1	1 1
契約保育教諭		4	4		4	4
契約パート保育教諭		5	5		6	6
契約パート保育補助員		2	2		3	3
副主任調理員		1	1		1	1
調理員		1	1		1	1
契約調理員		2	2		1	1
契約パート調理員		2	2		3	3
契約パート看護師		1	1		1	1
事務員		1	1		1	1
契約パート用務員		1	1	1		1
嘱託医	2		2	1	1	2
嘱託学校薬剤師	1		1	1		1
計	3	3 7	4 0	3	3 7	4 0

3 施設整備

項 目	内 容
高圧受電設備変圧器更新業務	高圧受電設備の変圧器交換
プール補修工事	プールの水底部の補修

4 職員研修（年間）

単位：（回）（人）

職部門	研修内容	主催者等	回数	参加 延人数
園 長	民間施設長研修	県保育連合会	1	1
	施設長研修	県保育連合会	1	1
	こどもも保育者も守る保育者の考え方と対応	市幼児教育センター	1	1
	保育をめぐる近年の動向について	市幼児教育センター	1	1
	教育・保育におけるカリキュラムマネジメント	市幼児教育センター	1	1
保育教諭	子どもも保育者も守る減災教育	市保育士会	1	1
	フォローアップ2年目研修・実技研修	市こども未来局	1	1
	ドキュメンテーション研修	県保育士会	1	1
	理事研修会	市保育士会	3	3
	幼児教育と小学校の円滑な接続について	市幼児教育センター	1	1
	小児アレルギー教室	県立こども病院	1	1
	小児救急救命講座	市保育士会	1	1
	県保育士総会研修会	県保育士会	1	1
	県保育士会リーダーセミナー	県保育士会	1	1
	実技研修「スケッチブックシアター」	市保育士会	1	1
	県人材育成研修	県保育連合会	1	1
	保育ドキュメンテーション研修	ベネッセ	1	1
	市こども園全体研修会	市こども未来局	1	2
	駿河7支部支援体制サポート強化事業研修会	市こども未来局	1	1
	市立西豊田小合同研修会	市立西豊田小学校	1	2
	中堅保育者研修会	県保育連合会中部支部	1	1
	主任保育士主幹保育士研修会	県保育士会	1	1
	減災研修会	北沼上こども園	1	1
	フォローアップ研修会	県保育連合会中部支部	1	1
	市立こども園公開保育	市こども未来局	2	2

	AI 時代における子どもの育ちと教育・保育の課題	市幼児教育センター	1	1
	子どもの育ちと学びをつなぐ研修会	市こども園課	1	1
	乳幼児保健研修会	市静岡医師会	1	1
	衛生推進者養成講習	県労働基準協会連合会	1	1
	キャリアアップ研修	市幼児教育センター	1	1
	キャリアアップ研修	保育のデザイン研究所 web	1 0	1 0
	保育のかかわり見直し講座	県社協	3	2 5
	階層別研修（若手職員）	園内	1 0	7 0
	役職者向け研修	リスクル web	2	9
	ハラスメント研修	リスクル web	1	5
	人権擁護研修	園内	2	1 0
	エビペン研修	園内	3	1 3
	救急法研修	園内	4	2 5
調理員	衛生講習会	市保健所	1	1
	小児アレルギー教室	こども病院	1	1
	調理実習	市保育協会	1	1
全職員	小学校との接続について	県教育センター	1	2 5
	園内研修 正規職員・契約・パート		1 2	1 4 4
	公開保育 正規職員・契約・パート		1 1	7 4
	計		9 5	4 4 8

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	市医師会 県産業労働福祉協会	3 6 人	婦人科検診・付加検診、対象者実施
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポートセンター	3 8 人	全職員 (10 月在職者)
検便（赤痢菌・サルモネラ菌・O-157）	毎月 1 回	（株）マルマ	3 7 人	全職員

6 施設利用人員

【定員：159 人】

単位：（人）

	令和7年度当初	入園児	転退園児	令和7年度末	備 考
0歳児	5	4		9	年度末退園2
1歳児	22			22	
2歳児	26		1	25	
3歳児	36			36	年度末退園2
4歳児	32	1		33	
5歳児	33			33	卒園33
計	154	5	1	158	

7 利用者の状況

単位：（人）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
療育手帳 保有児	0	0	0	0	1	1	2
通所受給者証 保有児	0	2	1	2	2	3	10
療育施設利用 児	0	2	1	2	3	4	12

8 利用者の健康診断状況

内 容	実施時期	備 考
内科健診	5月、11月	静岡済生会総合病院 (療育小児科 早川幸代医師)
歯科検診	6月、11月	オシカ歯科医院 (小武海實医師)
尿検査	10月	県予防医学協会
歯みがき巡回指導 (年中・年長児)	7月	市歯科医師会 (歯科衛生士)
視力検査 (年中児)	3月	職員により行う
身長・体重測定	毎月	職員により行う

9 利用者へのサービス状況等

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・フッ化物洗口（年中、年長児） ・健康管理（身長・体重測定） ・季節の野菜栽培、収穫、クッキング ・運動教室 ・心と体のお話 年3回（年中、年長児） ・花育（年長児） ・誕生会（誕生日当日各クラスにて行う） ・おたより配信（園だより、食育だより、絵本だより、ナースだより、献立表） ・保育参加会、保育参観会、個人面談	・職員会議 ・給食会議 ・運営会議 ・園内研修 ・ケース検討会 ・幼児会議 ・乳児会議 ・看護師会議 ・苦情相談第三者委員会 ・虐待防止第三者委員会 ・ボランティア受け入れ ・実習生・体験学習受け入れ ・防災訓練、防犯訓練

(2) 園外保育

年 月 日	内 容
7年 5月22日	親子遠足[静岡県立大学芝生園地]（幼児親子）
6月 5日	るくる科学の教室[健康文化交流館来・て・こ]（年長児）
10月23日	大道芸スモールパーティー [静岡老人ホーム]（年長児）
8年 1月14日	静岡市公私立こども園人形劇観劇[グランシップ]（年長児）
3月 9日	お別れ遠足 [秋葉山公園]（幼児）

(3) ボランティア受け入れ

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
芝刈り、園庭整備	保護者会	7	85
子育てサロン手伝い	民生委員	3	3
花育	ケアハウス白寿荘	1	2
計		11	90

(4) 実習生の受け入れ

単位： (人)

学 校 名	期 間	人 員	延人数
常葉大学保育学部	7年 9月 3日～ 9月 9日	1	5
	8年 2月 3日～ 2月25日	1	16
静岡産業技術専門学校	7年 9月25日～10月10日	1	12
常葉大学短期大学部	7年 6月 2日～ 6月20日	1	15
静岡大学	7年10月22日～11月 5日	1	11
県立大学短期大学部	7年10月20日～11月 1日	1	12
	8年 3月 2日～ 3月14日	1	12
静岡英和学院大学	7年 9月10日～ 9月12日	1	3
市立東豊田中学校	7年 5月21日～ 5月23日	6	18
静岡福祉大学	7年 6月 2日～ 6月20日	1	15
横浜こども専門学校	7年10月22日～10月24日	1	3
計		16	122

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓 練 内 容
4月14日	地震想定		全職員で避難経路を確認、避難の仕方、約束事確認 防災ヘルメット、頭巾の使用方法的の確認
5月21日	地震想定	午前活動中	園庭に避難する訓練
6月17日	火災想定	午前活動中	給食室より出火を想定した訓練 消火器持ち出し等の確認
7月10日	火災想定	午前活動中	火災により園庭に避難する訓練 (消防署員立ち合い) 消防署員による花火教室実施
8月20日	地震想定	午前活動中	水遊び中の訓練
9月 1日	地震想定	午前活動中	総合防災訓練 防災伝達訓練 (伝言ダイヤル使用)
10月28日	地震想定	午前活動中	炊き出し訓練
	大雨・浸水	午後	大雨による停電、浸水を想定した話し合い
11月 7日	地震想定	午前活動中 降園時間	総合防災訓練、引き渡し訓練 持ち出し品及び備蓄食品等の確認 炊き出し訓練
12月 6日 13日 20日 27日	地震想定	土曜日午前 活動中	土曜保育中の実施

1月17日	地震想定	午前活動中	早番保育中の地震 BCP 訓練安否コール訓練
2月13日	火災想定	午前活動中	給食室より出火した際の訓練
3月17日	地震想定	午睡中	午睡中の訓練

10 季節的行事

月	行 事 内 容
4	4日 入園式（新入園児、令和6年度途中入園児親子） 進級式 始業式
5	1日 こどもの日の集い 22日 親子遠足（幼児親子）
6	5日 科学の教室（年長児） 18日 プール開き
7	7日 七夕の集い 23日 小鹿フェスタ 25日 終業式
8	26日 始業式
9	5日 プール納め 12日 ケアハウス白寿荘敬老会（年長児）
10	4日～19日 静岡市葵区駿河区公私立こども園絵画展 18日 運動会（幼児） 25日 運動会（2歳児）
11	1日 親子であそぼう会（0、1歳児） 4日 交通教室（幼児） 20日 サッカー教室（年長児）
12	8日～16日 健康文化交流館「来・て・こ」にて幼児の造形作品展示 10日 参観会（年長児） 18日 もちつき 24日 クリスマス会 25日 終業式
1	6日 始業式 14日 静岡市公私立こども園人形劇観劇（年長児） 27日 市立西豊田小学校訪問（年長児）
2	3日 節分の集い 5日 交通教室（年長児） 17日 参観会（年少児） 18日 参観会（年中児）
3	3日 ひな祭りの集い 9日 お別れ遠足（幼児） 13日 お別れ会 21日 卒園式（卒園児親子） 25日 修了式

11 地域交流活動

(1) 地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
県立静岡南部特別支援学校運営協議会	9月 4日 2月12日	県立静岡南部特別支援学校	園長 西豊田地区社会福祉協議会 企画運営委員長 NPO 法人ひまわり副理事長 静岡済生会療育センター令和 療育支援課主幹 市立西豊田小学校 PTA 副会長 県立静岡南部特別支援学校 PTA 会長 地域コーディネーター
健康文化交流館 来・て・こ 運営委員会	8月26日 3月10日	健康文化交流館 来・て・こ	園長 小鹿商店会 静岡英和学院大学人間社会学部 コミュニティ福祉学科准教授 市立西豊田小学校 校長 来・て・こ協力会 ヴォイスⅡ代表 フォルテ歌う会 講師 パソコンわかばくらぶ 代表
来・て・こまつり (作品展)	12月8日 ～16日	健康文化交流館 来・て・こ	幼児クラス 健康文化交流館来・て・こ 参加者
小鹿二丁目町内会 敬老会	9月14日	健康文化交流館 来・て・こ	小鹿二丁目町内会 園長 ケアハウス白寿荘長

(2) 地域における異年齢児との交流

単位： (人)

事業の内容	時 期	場 所	未就園児、保護者
おしゃべりサロン	年 8回	豊田児童館	134
園庭開放	月 1回	園 庭	78
計			212

(3) 老人福祉施設訪問等世代間交流

単位：(人)

事業の内容	時 期	場 所	お年寄り	園児	計
老人施設交流 (※)	9月12日 (年長児との交流)	ケアハウス 白寿荘	41	33	74
なかよし体操	毎週木曜日(20回)	園庭 ケアハウス 白寿荘食堂	354	809	1,163
運動会	10月18日	園庭	23	101	124

(※) 老人施設4施設へメッセージ動画、作品、園児の祖父母へ絵手紙を贈る

12 小鹿こども園の利用実績

単位：(人×日=受入人数)

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	120	528	624	860	760	780	3,672
5月	120	528	624	860	760	780	3,672
6月	150	550	650	896	792	813	3,851
7月	156	572	676	928	816	834	3,982
8月	150	550	650	880	760	765	3,755
9月	168	528	624	860	760	780	3,720
10月	234	572	676	933	849	849	4,113
11月	207	506	598	823	744	744	3,622
12月	168	528	624	859	777	777	3,733
1月	207	506	575	823	744	744	3,599
2月	198	484	550	788	714	714	3,448
3月	225	550	650	892	801	801	3,919
計	2,103	6,402	7,521	10,402	9,277	9,381	45,086

13 苦情相談解決結果

該 当 な し

北沼上こども園

1 主要事業報告

(1) 教育保育内容の充実（利用者サービスの向上）

子どもの姿や発達段階を捉え、活動のねらいを再確認しながら展開することで保育の充実を図ることができた。

子どもの育ちを共有するため、行事参観の機会を増やしたが、保護者の参加は少なく課題が残った。「園だより」や「クラスだより」「玄関掲示」に加えてホームページの「園日記」による情報発信を強化し、取り組み内容や子どもの成長を丁寧に伝えるよう努めた。

(2) 職員の資質向上（利用者サービスの向上、健全な経営の確保）

園内研修は毎月実施、重点目標「良さに気づき認め合う」について現状の把握、具体的な実践の振り返りを行った。キャリアアップ研修を積極的に受講したり外部講師による研修を年4回実施したりし、職員の専門性向上に努めた。

危機管理マニュアルについて職員間で分担し、内容を見直し更新した。

(3) 危機管理体制の強化

ア 防災対策の継続（安全・安心の確保）

毎月、防災訓練を実施。災害の想定を具体化し、避難経路や園児への対応について振り返りを行った。また、専門講師による減災教育を取り入れ、園児、職員、保護者が災害についての学びを深める機会を設けた。

イ 感染対策の継続

毎日の消毒作業、清掃など継続的に実施。職員は出勤時に体温の確認、手洗いうがいを遵守し、集団感染の防止に努めた。

(4) 地域との連携（健全な経営の確保）

近隣老人施設の交流に加えて老人福祉センターとの交流を再開。地域ボランティアや実習生等を受入れた。

地域の子育て家庭が参加出来る行事の計画や園庭開放等を定期的に行い子育て支援を行った。

園児の就学予定の公開授業や連絡会に積極的に出席し情報共有を図った。また、西奈こども園の年長との交流や小学生と関わりを通し、年長児が円滑に小学校生活へ移行できるよう支援した。

2 園舎建替えについて

静岡市が示した「量の見込み（令和7年度から11年度）」で静岡東地区の未就学児の数に大きな減少はないとの予測となっている。現時点で「配置適正化計画」に具体的な動きはなく、建替えの時期は不透明な状況である。

老朽化している乳児室と遊戯室の空調を更新。費用を抑えるため「静岡市民間保育所施設等整備事業補助金」を活用した。今後とも必要最小限の修繕を計画的に行い、安全な保育環境を維持していく。

3 職 員 数

単位：（人）

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
園 長		1	1		1	1
副園長		1	1		1	1
主任保育教諭		1	1		1	1
副主任保育教諭		1	1		1	1
保育教諭		7	7		7	7
契約保育教諭		4	4		3	3
契約パート保育教諭		8	8		7	7
副主任調理員		1	1		1	1
契約調理員		1	1			0
契約栄養士			0		1	1
契約パート調理員		1	1		2	2
契約パート看護師			0		1	1
事務員（兼務）		（1）	（1）			0
契約事務員		1	1		1	1
契約パート保育補助		3	3		4	4
嘱託医	2		2	2		2
嘱託学校薬剤師	1		1	1		1
計	3	30 （1）	33 （1）	3	31	34

4 施設整備

項 目	内 容
空調設備更新業務	遊戯室及び乳児室空調劣化のため
プール屋根修繕	プールに寒冷紗を張るための足場設置
給食室給湯器入替え交換	給食室給湯器故障のため
保育室床張り替え	4歳児保育室床劣化のため

5 職員研修（年間）

単位：（回）（人）

職部門	研修内容	主催者等	回数	参加 延人数
園長	民間施設長研修会	県保育連合会	1	2
	施設長研修会	県保育連合会	1	1
	予算管理講座	県社会福祉協議会	1	1
	園長としての役割と組織マネジメント	県幼児教育センター	1	1
	所長研修	県保育連合会	1	1
	園運営管理	県幼児教育センター	1	1
	こどもも保育者も守る保育等の考え方と対応	市未来局	1	1
	5歳児健診について	市静岡医師会	1	1
保育教諭	すべての子どもの育ちと学びを支える保育者の専門性	市保育士会	1	1
	身体・食べ物・健康	県保育連合会	1	1
	子どもも保育者も守る減災教育	市保育士会	1	1
	こどもの権利条約について	県保育連合会	1	1
	子どもの世界を見つめる保育	ベネッセ	1	2
	インクルーシブ保育	小鹿こども園	1	2
	理事研修会	市保育士会	3	3
	幼児教育と小学校教育の円滑な接続について	市幼児教育センター	1	1
	小児アレルギー研修	県立こども病院	1	1
	小児救急救命講座	市保育士会	1	1
	実習指導の省察と実習生の評価	常葉大学	1	1
	こどもと共に保護者を支える	幼保支援課	1	1

	実技研修「スケッチブックシアター」	市保育士会	1	1
	歌遊び講座	産業技術専門学校	1	1
	小児救急救命講習	市保育士会	1	1
	障害のある子どもの発達と援助	市幼児教育保育支援課	1	1
	中堅保育者研修	県保育連合会	1	1
	運動あそび指導	市保育士会	1	1
	人材育成研修	県保育連合会	1	1
	コンプライアンス研修	ソウェルクラブ	1	1
	接遇研修	ソウェルクラブ	1	1
	主任保育士主幹保育士研修会	県保育士会	1	1
	AI 時代における子どもの育ちと教育・保育の課題	市幼児教育センター	1	1
	アタッチメントについて	市保育士会	1	1
	さくらんぼリズム勉強会	公立元園長	1	1
	5歳児健診について	市静岡医師会	1	1
	子どもの育ちと学びをつなぐ研修会	市こども園課	1	1
	静岡県保育研究大会	県保育士会	1	1
	養護講座	市保育士会	1	1
	配慮を必用とする子の保護者対応	小鹿こども園	3	3
	特別支援基礎講座	市幼児教育センター	1	1
	キャリアアップ研修	県保育士会	1	9
	キャリアアップ研修	保育のデザイン研究所	3	18
調理員	食べない子が変わる魔法の言葉	日本教育資料	1	1
事務員	経理基礎講座	県社会福祉協議会	1	1
	経理応用講座	県社会福祉協議会	1	1
	予算管理講座	県社会福祉協議会	1	1
	経理内部留保	県社会福祉協議会	1	1
	決算実務講座	県社会福祉協議会	1	1
全職員	救急講習	静岡市消防局	1	24
	人権研修	県教育センター	1	25
	園内研修		10	107
	公開保育		3	50
	階層別研修		10	62
計			78	347

6 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
健康診断	年 1 回	静岡医師会 県産業労働福祉協会	31 人	全職員 婦人科検診・付加 検診 対象者は実施
ストレスチェック	年 1 回 (10 月)	聖隷健康サポート センター	30 人	全職員 (10 月在職 者) (育休 2 名を除 く)
検便 (サルモネラ菌・ 赤痢菌・O-157)	毎月 1 回	(株) 有研	31 人	全職員

7 施設利用人員

【定員：106 人】

単位：(人)

クラス	令和 7 年度当初	入園児	転退園児	令和 7 年度末	備 考
0 歳児	4	5		9	
1 歳児	12	1		13	
2 歳児	18			18	年度末転園 1
3 歳児	19			19	
4 歳児	19			19	
5 歳児	20			20	卒園 20
計	92	6	0	98	

8 利用者の状況

単位：(人)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
療育手帳 保有児	0	0	0	0	0	0	0
通所受給者証 保有児	0	0	2	2	2	3	9
療育施設 利用児	0	0	2	2	2	3	9

9 利用者の健康診断状況

内 容	実施時期	備 考
内科健診	6 月、10 月	にしなこどもクリニック (金沢貴保医師)
歯科検診	6 月、10 月	トヨタ歯科 (豊田和茂医師)
尿検査	5 月	県予防医学協会
歯みがき巡回指導 (年長・年中児)	5 月	市歯科医師会 (歯科衛生士)
視力測定 (年中児)	11 月	看護師により行う
身長・体重測定	毎 月	職員により行う

10 利用者へのサービス状況

(1) 定期的活動

利用者サービス等	会 議 等
・フッ化物洗口 (年長・年中児) ・健康管理 (身長・体重測定) ・健康管理 (嘱託医による内科健診・歯科検診・尿検査 年中児視力検査) ・季節の野菜栽培、収穫、クッキング ・運動教室 年5回 (幼児・2歳児) ・音楽リズム教室 年5回 (幼児・2歳児) ・心と体のお話 年3回 (4歳児5歳児) ・花育 (年長児) ・誕生会 (毎月) (誕生日当日、各クラスにて行う) ・保育参観、個人面談 ・お便りメール配信 月1回 (園だより・クラスだより・給食だより・給食献立表) ・広報誌「龍の童だより」発行 年4回	・職員会議 ・運営会議 ・給食会議 ・園内研修 ・ヒヤリハット検討会 ・ケース会議 ・全体会議 ・行事会議 ・苦情相談第三者委員会 ・虐待防止第三者委員会 ・ボランティア受入れ ・実習生・体験学習受入れ ・防災訓練、避難訓練

(2) 園外保育

年 月 日	内 容
7年 6月18日	消防署見学〔千代田消防署〕(年長児)
7年10月21日	あつまれちびっこ消防隊〔駿河消防局〕(年長児)
7年 7月23日	川遊び②〔長尾川〕(年中・年長児)
7年10月23日	ペア遠足〔船越堤公園〕(年少・年中・年長児)
	遠足ごっこ〔近隣公園〕(0. 1. 2歳児)
7年11月 6日	親子遠足〔日本平動物園〕(全園児親子)
8年 1月30日	シルエット劇観劇〔静岡市民文化会館〕(年長児)
8年 2月 5日	交通教室教室〔西奈小学校前〕
8年 3月 5日	ハイキング〔公園〕(年少・年中・年長児)

(3) ボランティア受け入れ

内 容	団 体 名 等	回 数 (回)	来訪者数 (人)
資源回収	保護者	2	65
環境学習	地域住民	1	4
イベント手伝い	保護者会	1	3
花育	地域住民	1	2
読み聞かせ	地域住民	3	6
素話	おはなしの会	4	15
園内清掃	卒園児保護者及び保護者会役員	1	28
計		13	123

(4) 実習生の受け入れ

単位：(人)

学 校 名	期 間	人 員	延人数
静岡市立竜爪中学校	7年 5月20日 ～ 5月22日	4	12
常葉大学	7年 5月19日 ～ 5月31日	1	12
静岡英和学院大学	7年 9月 1日 ～ 9月13日	1	12
常葉大学短期大学部	8年 2月 2日 ～ 2月13日	1	11
計		7	47

(5) 災害避難訓練

実施日	想定災害	想定時間帯	訓練内容
4月28日	土砂崩れ・地震・火災・水害想定		図上訓練：土砂崩れ・地震・火災・水害についての避難方法確認
5月15日	地震からの火災想定	平日午後	園庭への避難、初期消火訓練 保護者にメール配信、保護者への引渡し訓練
6月10日	台風による川の氾濫想定	平日午前	2階への避難訓練、停電・水道不通想定 (暑いため、エアコンは使用)
7月18日	地震想定	平日午前	水遊び中の訓練
9月19日	地震想定	平日午前	保育中に地震発生(3分)の想定訓練 自主防災活動必要器具・生活必需品の確認
9月30日	火災想定	土曜午前	土曜保育中、給食室から発火想定避難訓練
10月20日	地震から山崩れ想定	平日午前	保育中に地震発生2階への避難訓練
11月7日	地震から火災想定	平日午前	園庭から第三避難場所(竜爪中学)へ避難 炊き出し訓練 伝言ダイヤル実施
12月15日	火災想定	平日午前	火災報知器、ベランダ、非常用滑り台を使用 通報訓練実施
1月19日	地震から山崩れ想定	平日午前	園庭から園舎内2階へ避難
2月20日	地震想定	平日午前	法人全体のBCP伝達訓練 安否コール訓練 断水・停電想定 アラート音使用
3月23日	地震想定	平日午後	午睡時の避難訓練

・水消火器訓練を毎月実施

11 季節的行事

月	行 事 内 容
4	5日 入園式 対面式 9日 環境学習（年長児）竹粉の堆肥作り 10日 鯉のぼり上げ 21日 お腹元気教室（年長児）
5	8日 お茶教室（年長児） 15日 引き渡し訓練
6	1日 運動会（幼児） 13日 交通安全教室（幼児） 18日 消防署見学（年長児） 26日 プール開き
7	4日 七夕飾りつけ
9	10日 プール納め 4日 7か国語で遊ぼう
10	2日 龍の童まつり 10日 減災教育 21日 集まれちびっこ消防隊 27日 ケアセンター瀬名訪問 30日 ペア遠足
11	5日 焼き芋パーティー 6日 親子遠足 11日 就学前健康診断（年長児） 13日 防火パレード 28日 花育（年長児）
12	16日 西奈こども園交流（年長児） 18日 北沼上小学校1、2年生との交流（年長児） 19日 年長児劇発表会 23日 長尾川老人福祉センター交流 25日 クリスマス会 26日 保育納め
1	8日 獅子舞 9日 どんど焼き・うどんパーティー 14日 静岡市公私立こども園人形劇観（年長児） 16日 触れ合い動物園（保護者会主催） 20日 7か国語で遊ぼう 28日 西奈こども園との交流
2	3日 豆まき 5日 交通安全教室（年長児） 10日 北沼上小学校探検（年長児） 19日 年中児劇発表会 21日 新入園児オリエンテーション・卒園児保護者園内清掃 24日 西奈小学校探検 5年生との交流（年長児） 26日 年少児劇発表会

3	3日 ひな祭り（各クラス） 5日 ハイキング 18日 お別れ会 21日 卒園式
---	--

12 地域交流活動

（１）地域ふれあい事業

事業の内容	時 期	場 所	参 加 者
防火パレード	11月13日	園 周 辺	消防隊・園児・職員
竜爪中学校区 合同図工作品展	12月3日～ 12月10日	リンク西奈	竜爪中、西奈小、北沼上小学校 西奈・北沼上こども園 静岡北中・高等学校
長尾川老人福祉 センター交流会	12月23日	長尾川老人 福祉センター	年長児、地域の方
竜爪中学校区	5月14日 10月18日 11月 8日 11月19日 1月21日 3月 6日	竜爪中学校 北沼上小学校 西奈小学校	北沼上学区自治会連合会長、西奈学区自治会連合会会長、竜爪中、西奈小、北沼上小、西奈こども園園長、北沼上こども園園長
長尾川老人福祉 センター運営委 員会	5月30日	長尾川老人 福祉センター	北沼上自治会連合会長、民生委員、西奈地区社会福祉協議会長、竜爪園園長、長尾川地域包括支援センター長、北沼上こども園園長

（２）地域における異年齢児との交流

単位：（人）

事業の内容	時 期	場 所	未就園児
おしゃべりサロン	年 11 回	園 庭・保育室	83
園庭開放	年 21 回	園 庭	18
一時保育児受入れ	通 年	保 育 室	41
計			142

(3) 老人福祉施設訪問等世代間交流

単位：(人)

事業の内容	時 期	場 所	お年寄り	園児	計
老人施設交流	6月10日	ケアセンター瀬名 (※)	—	—	—
老人施設交流	10月27日	ケアセンター瀬名	50	15	65
世代間交流	12月23日	長尾川老人福祉 センター交流	30	20	50
老人施設交流	12月24日	竜爪園	50	20	70
獅子舞披露	1月 8日	園 庭	竜爪園職員5名 による獅子舞披露		

(※) 当日雨で中止のためプレゼントを届ける

13 北沼上こども園の利用実績

単位：(人×日＝受入人数)

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	100	300	450	475	475	500	2,300
5月	138	276	414	437	437	460	2,162
6月	150	300	450	475	475	500	2,350
7月	156	338	486	494	494	520	2,488
8月	150	325	450	475	475	500	2,375
9月	144	312	432	456	456	480	2,280
10月	156	338	486	494	494	520	2,488
11月	138	299	414	437	437	460	2,185
12月	132	312	432	456	456	480	2,268
1月	207	299	414	437	437	460	2,254
2月	198	286	396	418	418	440	2,156
3月	225	325	450	475	475	500	2,450
計	1,894	3,710	5,274	5,529	5,529	5,820	27,756

14 苦情相談解決結果

該 当 な し

居宅介護支援センター白寿

1 主要事業報告

(1) 主要事業報告

介護保険法にもとづき、要介護認定を受けた方や地域包括支援センターから委託を受けた要支援者等を自宅で介護サービスなどを利用しながら生活できるようご本人・ご家族等の心身の状況や生活環境、希望等に寄り添い、居宅サービス計画(ケアプラン)を作成し、ケアプランにもとづいて介護保険サービスなどを提供する事業所との連絡・調整などを行う。

(2) 感染症対応

ア 日常における体調管理に努め、年間を通して、出勤前、帰宅後の手洗い・消毒・マスク着用などの感染予防を行った。

イ ワクチン接種

ウ 新型コロナウイルス及びインフルエンザ、随時抗原検査実施

2 職員数

単位：(人)

年 度 職 名	令和7年度当初			令和8年度当初		
	男	女	計	男	女	計
所 長	(1)		(1)	(1)		(1)
主任介護支援専門員		1	1		1	1
管理者兼 主任介護支援専門員		1	1		1	1
主任介護支援専門員兼 主任訪問介護員兼 主任介護職員兼 主任計画作成担当者		(1)	(1)			0
事務員		(1)	(1)		(1)	(1)
計	0 (1)	2 (2)	2 (3)	0 (1)	2 (1)	2 (2)

() は外数

3 施設整備

該 当 な し

4 職員の研修〈年間〉

単位：（回）（人）

職部門	研 修 内 容	主 催 者 等	回数	参加 延人数
介護 支援 専門員	集団指導	県介護保険課	1	1
	高齢者虐待について	市地域包括推進課	1	1
	成年後見制度職員研修	市社会福祉協議会	1	2
	ステップアップ研修	市ケアマネット協会	3	3
	東源台学区民生委員交流会	小鹿包括支援センター	1	1
	介護予防ケアマネジメント研修	静岡県	1	1
	大里地区地域事例研修ネットワーク	市ケアマネット協会	1	1
	小鹿豊田地域事例研修ネットワーク	市ケアマネット協会	2	2
	ハラスメントについて	市ケアマネット協会	1	1
	カスタマーハラスメント	静岡老人ホーム照会タウン Y A Y A	1	1
	BCP 研修・訓練実施	※内部研修	1	2
	在宅医療と介護連携	C U C	1	1
	倫理及び法令順守の研修、人権擁護	※内部研修	1	2
	認知症に関する専門職研修	市認知症疾患センター	1	1
	保険外サービスについて	日本保険外看護サービス協 会	1	1
	在宅酸素療法の最新トレンド	地域リハビリ支援センター	1	1
	適切なケアマネジメント手法	日本総合研究所	1	1
	自宅でずっとミーティング	小鹿地域包括支援センター	1	1
	災害対策机上訓練	市ケアマネット協会	1	1
	対人援助職に効くストレスマネジメン ト	県介護支援専門員協会	1	1
	BCP×感染症対策セミナー	（株）トーカイ	1	1
	高次脳障害者支援に関する情報交換会	市精神保健課	1	1
	「心不全」研修	市ケアマネット協会	1	1
	CM 育成支援、市町と連携した地域づく り	県介護保険課	1	1
	主任ケアマネ連絡会	小鹿豊田地域包括支援セン ター	2	2
	実習研修等演習指導者説明会	県介護支援専門員協会	1	1
	ファシリテーターフォローアップ研修	県介護支援専門員協会	1	1
	計		3 1	3 4

5 職員の健康診断

検診内容	実施回数	実施機関	受診者	備 考
成人病検査（一般）	年 1 回	市医師会	2 人	婦人科検診・付加 検診・対象者実施
ストレスチェック	年 1 回	聖隷健康サポート センター	2 人	全職員 (10 月在職者)

6 利用者へのサービス状況

(1) 要介護認定申請代行件数

単位：（件）

月 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新 規	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	10
更 新	4	4	3	1	2	2	3	0	0	0	0	2	21
変 更	1	0	3	2	2	2	0	2	1	4	1	2	20
合 計	6	5	7	4	4	5	4	3	2	4	2	5	51

(2) 居宅サービス計画作成件数

単位：（件）

月 区 分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
事業対象者	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	28
要支援 1	13	12	13	11	11	11	11	10	11	10	10	10	133
要支援 2	8	8	7	8	6	6	7	6	7	7	8	8	86
要介護 1	20	22	20	22	23	21	21	20	19	21	21	22	252
要介護 2	13	11	11	12	13	13	13	12	14	14	14	13	153
要介護 3	5	4	5	4	1	2	2	3	3	3	4	4	40
要介護 4	3	2	1	2	2	2	1	2	2	3	3	3	26
要介護 5	0	0	0	2	2	3	2	2	2	2	2	2	19
合 計	63	61	59	63	60	60	59	58	61	63	65	65	737

7 利用者の年齢（令和8年3月31日）

65歳 以下	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均年齢
0人	0人	5人	10人	14人	25人	8人	3人	65人	83歳

8 認定調査委託件数

単位：(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3	7	3	3	9	2	6	8	4	3	8	4	60

9 苦情相談解決結果

該当なし

付 属 明 細 書

○ 本 部	該当する事項はなし
○ ケアハウス白寿荘	該当する事項はなし
○ 静岡老人ホーム	該当する事項はなし
○ ヘルパーステーション白寿	該当する事項はなし
○ 静岡市救護所	該当する事項はなし
○ わらしな学園	該当する事項はなし
○ わらしなホーム（グループホーム）	該当する事項はなし
○ わらしなロッジ	該当する事項はなし
○ 相談支援センターわらしな	該当する事項はなし
○ 小鹿こども園	該当する事項はなし
○ 北沼上こども園	該当する事項はなし
○ 居宅介護支援センター白寿	該当する事項はなし